

經 營 學 部

履 修 要 項

昭 和 62 年 度

駒 澤 大 學

学 年 曆

前 期

- 4月 8日(水) 入学式(学部・短大)
- 9日(木) } 新入生オリエンテーション
- 14日(火) }
- 9日(木) } 在校生成績発表(学部・短大)
- 10日(金) }
- 9日(木) } 体育実技Ⅱ受講届(種目選択届)
- 10日(金) } 受付(学部2年次生)
- 9日(木) }
- 20日(月) } 在校生成身証明登録(学部・短大)
- 13日(月) }
- 18日(土) } 在校生成績質疑応答(学部・短大)
- 15日(水) } 前期授業開始
- 22日(水) } 履修届受付(学部・短大)
- 27日(月) } (学部により受付日が異なる)
- 5月 7日(木) } 春季健康診断
- 13日(水) } (卒業年次生対象)
- 25日(月) } 卒業論文論題受付
- 6月10日(水) } (締切日は正午まで)
- 7月 6日(月) } 外国語指定届受付(仏教・文(除英
米文)・法学部・短大英文・英文の
1年次生および経済学部の2年次生)
- 11日(土) }
- 15日(水) } 中間試験(授業平常どおり)
- 21日(火) }
- 21日(火) } 前期授業最終日
- 22日(水) } 前期終了科目定期試験
- 23日(木) }
- 24日(金) } 夏季休暇第1日(9月14日まで)
- 24日(金) } 体育実技Ⅱ集中授業コース・
- シーズンコース(テニス)
- 28日(火) } (学部2年次生)
- 28日(火) } 前期終了科目定期試験欠試届(追試
験申込)受付締切

後 期

- 9月 7日(月) } 補講期間
- 12日(土) }
- 16日(水) } 後期授業開始
- 17日(木) } 前期終了科目定期試験成績発表(質
疑応答)および再試験申込受付
- 18日(金) }

- 25日(金) }
- 10月 1日(木) } 前期追・再試験(授業平常どおり)
- 1日(木) } 専攻コース指定届受付
- 2日(金) } (歴史・社会学科1年次生)
- 5日(月) }
- 8日(木) } 秋季健康診断(1~3年次生対象)
- 15日(木) } 第105回開校記念日(全学休業)
- 11月11日(水) }
- 13日(金) } 転部・転科試験願書受付
- 27日(金) } 転部・転科試験
- 12月 1日(火) }
- 10日(木) } 卒業論文受付(締切日は正午まで)
- 3日(木) }
- 11日(金) } 編入学試験願書受付
- 19日(土) } 冬季休暇第1日(1月7日まで)
- 19日(土) } 体育実技Ⅱ集中授業コース
- 23日(水) } (学部2年次生)
- 21日(月) } 編入学試験

昭和63年

- 1月 8日(金) } 後期授業再開
- 14日(木) } 後期授業最終日
- 16日(土) }
- 27日(水) } 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 28日(木) }
- 2月 5日(金) } 定期試験(一般・外国語・保健体育
科目)
- 6日(土) } 定期試験欠試届受付締切(学部4年
次生・短大生)
- 6日(土) } 定期試験欠試届(追試験申込)受付
締切(学部1~3年次生)
- 8日(月) } 卒業論文口頭試問
- 15日(月) }
- 19日(金) } 体育実技Ⅱシーズンコース
- 18日(木) } (スキーA・B)(学部2年次生)
- 19日(金) } 成績発表(質疑応答)および追・再試
験申込受付(学部4年次生・短大生)
- 25日(木) } 追・再試験(学部4年次生・短大生)
- 3月 2日(水) } 追試験(学部1~3年次生)
- 19日(土) } 卒業生名簿発表(学部・短大)
- 25日(金) } 卒業式(学部・短大)

目 次

I	単位制と学年制	
1.	単位制と学年制	(1)
2.	授業科目の単位計算	(1)
3.	授業科目の区分	(1)
II	卒業に必要な単位数と学士号	
1.	卒業に必要な単位数	(2)
2.	学 士 号	(3)
III	授業科目の履修方法	
1.	一般教育科目の履修方法	(4)
2.	外国語科目の履修方法	(5)
3.	保健体育科目の履修方法	(8)
4.	基礎教育科目の履修方法	(9)
5.	専門教育科目の履修方法	(9)
6.	随意科目の履修方法	(11)
7.	再履修科目の履修方法	(11)
8.	授業科目のコード番号について	(12)
IV	履修科目の登録（履修届）とその作成順序	
1.	履修科目の登録	(13)
2.	履修届記入上の注意	(14)
3.	履修届（時間割）の作成順序	(15)
V	試験および成績評価	
1.	定期試験	(16)
2.	中間試験	(16)
3.	追・再試験	(16)
4.	受験心得	(17)
5.	成績評価・単位認定	(17)
6.	試験時間	(17)

VI 進級について	(18)
VII 教職課程・資格講座	(19)
VIII 事務取扱いについて	
1. 成績発表・成績証明書	(20)
2. 授業時間	(20)
3. 事務室の事務受付時間	(20)
4. 休 講	(20)
5. 掲 示	(20)
6. 問い合わせ	(20)
IX 学籍について	
1. 修業年限と在学年数	(21)
2. 休 学	(21)
3. 復 学	(21)
4. 退 学	(22)
5. 除 籍	(22)
6. 懲 戒	(22)
7. 再 入 学	(22)
8. 編 入 学 (学士入学)	(22)
9. 転部・転科	(23)
10. 学生氏名・保証人	(23)
11. 学生番号	(23)
X 既修得単位の認定について	(24)
XI 届書・願書について	(25)
XII 各種証明書取扱い窓口	(26)
試験実施規程 (抜粋)	(27)
進 級 規 程	(29)
講 義 内 容	(31)

I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準に従って授業科目を履修し、試験に合格することによってその授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学期間は4カ年以上(7カ年を超えてはならない)である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1 単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）

(a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目

(b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

(c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

Ⅱ 卒業に必要な単位数と学士号

1. 卒業に必要な単位数

A. 60年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	36	} 142以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	16	
	第 2 外 国 語	4	8		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		2	8	8	
専 門 教 育 科 目	必 修	3	12	78	
	選 択	17	66		

B. 58・59年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	36	} 142以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	16	
	第 2 外 国 語	4	8		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		2	8	8	
専 門 教 育 科 目	必 修	3	12	78	
	選 択	17	66		

C. 56・57年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	36	} 142以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	16	
	第 2 外 国 語	4	8		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専 門 教 育 科 目	必 修	3	12	82	
	選 択	18	70		

D. 55年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	36	} 142以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	14	
	第 2 外 国 語	3	6		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専 門 教 育 科 目	必 修	4	14	84	
	選 択	18	70		

2. 学 士 号

大学に4カ年以上（7カ年を超えてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、「経営学士」の称号が与えられる。

Ⅲ 授業科目の履修方法

※ 北海道教養部では、授業科目等に多少の変更を生ずる場合がある。

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配当する。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は、本人の学生番号のクラスで履修すること。(再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない。)
- ハ. 各学年に配当された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修することはできない。

1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は1年次および2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から定められた科目数・単位数を履修しなければならない。
- ロ. 「宗教学Ⅰ」を1年次、「宗教学Ⅱ」を2年次で必修とする。
- ハ. 2年次までに所定の科目数・単位数を修得していなければならない。

人文分野	4単位ずつ4科目	計16単位	}	合計9科目 36単位
社会分野	4単位ずつ3科目	計12単位		
自然分野	4単位ずつ2科目	計8単位		

分 野	授 業 科 目	単 位	履 修 科 目 数	修 得 単 位	計	備 考
人文分野	宗 教 学 Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ」・「宗教学Ⅱ」の2科目を含めて4科目選択必修	16	} 36	
	宗 教 学 Ⅱ (2年次必修)	4				
	哲 学	4				
	論 理 学	4				
	倫 理 学	4				
	文 学	4				
社会分野	法 学 憲 法 (日本国憲法2単位を含む)	4	3科目選択必修	12	} 36	教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」を必修とする。
	社 会 学 (2年次)	4				
	地 理 学	4				
	統 計 学 (2年次)	4				
	文 化 人 類 学	4				
自然分野	自 然 科 学 概 論	4	2科目選択必修	8	} 36	
	数 学	4				
	心 理 学 (2年次)	4				

※ 「宗教学Ⅰ」の授業は木曜日に玉川校舎(道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照)で行う。

2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1年次および2年次において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。ただし、56年度以降入学生は第1外国語が英語、第2外国語は他の外国語となる。

履修年次	第1外国語		第2外国語		計	
	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2(2)	4(4)	2(2)	4(4)	4(4)	8(8)
2年次	2(2)	4(4)	2(1)	4(2)	4(3)	8(6)
計	4(4)	8(8)	4(3)	8(6)	8(7)	16(14)

※ ()内の数字は56年度以前入学生適用。

1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授業科目	単位	科目内容	履修科目数	備考
英語 1G	2		1G・1R 2科目を必修とする。ただし1Gは「英会話I」または「英語LLI」に代替できる。	LLI (ランゲージ・ラボラトリー)
英語 1R	2			
英会話 I	2			
英語 L L I	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
ドイツ語 1G	2	文 法	5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1Rの2科目を必修とする。	
ドイツ語 1R	2	講 読		
フランス語 1G	2	文 法		
フランス語 1R	2	講 読		
中国語 1G	2	文 法		
中国語 1R	2	講 読		
スペイン語 1G	2	文 法		
スペイン語 1R	2	講 読		
ロシア語 1G	2	文 法		
ロシア語 1R	2	講 読		

※ 英語科目内容

英語 1G：意志表現と意志伝達の基礎を把握する。

英語 1R：講読を通し、内容と文構造の基本を把握する。

※「英語 1R」の授業は木曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

2年次の履修

A. 56年度以降入学生適用

1年次で履修の2カ国語（英語と他の1カ国語）を、それぞれ2AⅠ・2AⅡの2科目ずつ計4科目8単位必修とする。

第1外国語（英語を2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2AⅠ	2	
英 語 2AⅡ	2	

※ 英語科目内容

英語2AⅠ：講読を通し、はば広い教養を修得する。

英語2AⅡ：意志表現と意志伝達の能力を発展させ、応用力を修得する。

第2外国語（1年次で履修の英語以外の1カ国語を2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
ド イ ツ 語 2AⅠ	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2AⅠ	2	講 読
ド イ ツ 語 2AⅡ	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2AⅡ	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2AⅠ	2	講 読	ロ シ ア 語 2AⅠ	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2AⅡ	2	講 読	ロ シ ア 語 2AⅡ	2	講 読
中 国 語 2AⅠ	2	講 読			
中 国 語 2AⅡ	2	講 読			

B. 55年度以前入学生適用

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし、2AⅠ・2AⅡの2科目4単位、他方を第2外国語として2Bを1科目2単位、計3科目6単位を必修とする。

第1外国語（指定した外国語の2AⅠ・2AⅡの2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2AⅠ	2	講 読	中 国 語 2AⅠ	2	講 読
英 語 2AⅡ	2	講 読	中 国 語 2AⅡ	2	講 読
ド イ ツ 語 2AⅠ	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2AⅠ	2	講 読
ド イ ツ 語 2AⅡ	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2AⅡ	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2AⅠ	2	講 読	ロ シ ア 語 2AⅠ	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2AⅡ	2	講 読	ロ シ ア 語 2AⅡ	2	講 読

第2外国語（指定した外国語の2Bを1科目2単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2 B	2	講 読	中 国 語 2 B	2	講 読
ド イ ツ 語 2 B	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 B	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 B	2	講 読	ロ シ ア 語 2 B	2	講 読

外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号（下3ケタ）により該当するクラスを履修すること。
- ロ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ハ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ニ. 2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

3. 保健体育科目の履修方法

カリキュラム改訂に伴い、昭和60年度以降入学生より新カリキュラムを適用する。なお、昭和59年度以前入学生は、旧カリキュラムが適用される。

A. 60年度以降入学生適用

講義と実技に分かれる。講義は1年次に1科目2単位、実技は1年次1科目1単位「体育実技Ⅰ」、2年次1科目1単位「体育実技Ⅱ」の3科目4単位を必修とする。

		授 業 科 目	単 位	備 考
講	義	保健体育理論	2	1年次前期または後期
実	技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
		体育実技Ⅱ	1	2年次前期または後期

イ. 講義・体育実技Ⅰの授業は木曜日に玉川校舎で行う。

ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

※ 体育実技Ⅰについての種目の説明等は、1年次生および「再履修クラス」を履修する者とも最初の授業に配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ハ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期または後期の体育実技Ⅱの授業

B. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される玉川校舎での集中授業

ニ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

※ 体育実技Ⅱについての種目の説明、シーズン・コースおよび集中授業等の申込み方法については、「体育実技受講要領」を参照すること。（受講要領配布については、掲示板参照。）

ホ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

B. 59年度以前入学生適用

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

		授 業 科 目	単 位	備 考
講	義	保健体育理論	2	前期または後期
実	技	体育実技	2	通 年

イ. 講義・実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

ロ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

ハ. 講義・実技とも1年次生は玉川校舎で授業を行う。

※ 実技についての種目の説明等は、1年次生および「再履修クラス」を履修する者とも最初の授業に配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

4. 基礎教育科目の履修方法

A. 58年度以降入学生適用

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次において2科目8単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	経済学概説	4	
	経営学概説	4	

B. 57年度以前入学生適用

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次において1科目4単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	経済学概説	4	

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお、一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

必修科目

A. 56年度以降入学生適用（3科目12単位）

B. 55年度以前入学生適用（4科目14単位）

1年次必修			2年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
簿記学	4	旧「簿記」	経営学	4	
プロゼミⅠ	2	55年度以前入学生のみ必修	会計学	4	

選 択 科 目

A. 58年度以降入学生適用（66単位以上）

B. 57年度以前入学生適用（70単位以上）

1 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
プロゼミ I	2	※	アメリカ経営学	4		経営分析論	4	
2 年 次 選 択			経営財務論	4		税務会計論	4	
経 営 史	4		経営労務論	4		会計監査論	4	
経営管理論	4		経営組織論	4	休 講	証券市場論	4	
企業形態論	4		経営技術論	4		商 業 史	4	
プログラミング論	4		経営情報論	4		経 済 政 策	4	
原価計算論	4		経 営 科 学	4		財 政 学	4	
経 済 原 論	4		公益企業論	4		金 融 論	4	
近代経済学	4	休 講	マーケティング論	4		国際経済論	4	
日本経済史	4		商業経営論	4		国際金融論	4	
統計原論	4		保険経営論	4		日本経済論	4	
民 法 I	4		銀行経営論	4		民 法 II	4	
プロゼミ II	2		貿易経営論	4		外 書 講 読	4	
3 年 次 選 択			日本経営史	4		4 年 次 選 択		
商 法 I	4		経営統計	4		商 法 II	4	
演 習 I	4		上級簿記	4		労 働 法	4	
3・4 年次選択			財務会計論	4		演 習 II	4	
経営学史	4	休 講	管理会計論	4				

※ 55年度以前の入学生は「プロゼミ I」を必修とする。

6. 随意科目の履修方法

随意科目は2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることができない。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
比較思想特講	4		英 語 LLⅡ	2	
英 会 話 Ⅱ	2		ド イ ツ 語 FLL	2	初 級・中 級
ド イ ツ 語 F	2		フ ラ ン ス 語 FLL	2	初 級・中 級
フ ラ ン ス 語 F	2		中 国 語 FLL	2	初 級・中 級
中 国 語 F	2		ス ペ イ ン 語 FLL	2	初 級・中 級
ス ペ イ ン 語 F	2		ロ シ ア 語 FLL	2	初 級・中 級
ロ シ ア 語 F	2		英 語 (海外演習)	2	※

※「英語（海外演習）」は、ハワイ大学およびカリフォルニア大学で行われる短期留学サマーセミナーで、1年次生より履修できる。なお、詳細については、講義内容（P. 42）を参照のこと。

○ 外国人留学生対象の随意科目「日本語F」について（1年次生より履修できる。）

外国人留学生のために、次のような日本語科目が開講されている。

外国人留学生は、自分の日本語能力の程度に応じ、この日本語科目を履修することが望ましい。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
日 本 語 F (Ⅰ)	2	基 礎 1	日 本 語 F (Ⅲ)	2	応 用 1
日 本 語 F (Ⅱ)	2	基 礎 2	日 本 語 F (Ⅳ)	2	応 用 2

7. 再履修科目の履修方法

イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合、授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。

ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は、新履修とみなして制限科目数内で復修しなければならない。（休学の場合も同様）

ハ. 再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届け出なければならない。

ニ. プロゼミⅠ（55年度以前の入学生）の再履修については次のとおり。

「プロゼミⅠ」を再履修するものは、授業時間表の中から任意のクラスでそれぞれ履修すること。

なお、必修コード番号は授業時間表の〔注意〕欄を参照のこと。

ホ. 外国語・体育実技Ⅰ（59年度以前入学生は体育実技）・保健体育理論および宗教学Ⅰを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。ただし、原級者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。

ヘ. 1年次生は「再履修クラス」を履修することはできない。

8. 授業科目のコード番号について

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

イ. 科目コードの区分



ロ. 学部, 学科番号は「学生番号 (P.23 参照)」での説明のとおりである。

ハ. 系列・分野区分

授業科目の区分	系列番号	分野番号
一般教育科目	0	
人文分野		1 (必修)・2 (選択)
社会分野		3
自然分野		4
基礎教育科目	1	3
外国語科目	2	
保健体育科目	4	
実技		1
講義		2
専門教育科目	5	
必修科目		1・2・3
選択科目		5・6・7・8
随意科目	7	
再履修科目	8	
課程・講座科目	9	
必修科目		1
選択科目		2
教科科目		3・4・5・6・7・8

IV 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

1. 履修科目の登録

毎学年次所属する学科、学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び、所定の「単位履修届」用紙に必要な事項を記入し届け出ることにより、通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次において履修できる最高授業科目数（制限科目数）は次表のとおりとする。

A. 昭和62年度以降入学生適用

年次	新規履修科目数	課程・講座登録者科目数
1年次	15科目	——
2年次	5科目以上12科目以内	17科目以内
3年次	5科目以上11科目以内	17科目以内
4年次	3科目以上14科目以内	17科目以内

イ. 体育実技Ⅱ・随意科目は、上記表の制限外とする。

ロ. 外国人留学生を対象とする随意科目「日本語F（Ⅰ～Ⅳ）」は、1年次生より履修することができ、上記表の制限外とする。

ハ. 半期科目も1科目とする。

ニ. 再履修科目の履修については、次のとおりとする。

(1) 2年次生はすべて制限科目数（12科目以内）の範囲内で履修すること。

(2) 3・4年次生は外国語科目・保健体育科目の再履修についてのみ制限科目数（3年次：11科目以内、4年次：14科目以内）の枠外とし、17科目以内で履修できるものとする。

ホ. 制限科目数の範囲内で順次履修すれば、4年次には卒業所要単位数までに専門選択科目3科目を残すだけとなり、課程・講座科目の履修や未・再履修の補充も制限科目数の範囲内で十分可能である。

B. 昭和61年度以前入学生適用

年次	新規履修科目数	再履修を含む科目数	課程・講座登録者科目数
1年次	15科目	——	——
2年次	5科目以上12科目以内	17科目以内	17科目以内
3年次	5科目以上12科目以内	17科目以内	17科目以内
4年次	2科目以上14科目以内	17科目以内	17科目以内

イ. 体育実技Ⅱ・随意科目は、上記表の制限外とする。

ロ. 外国人留学生を対象とする随意科目「日本語F（Ⅰ～Ⅳ）」は、1年次生より履修することができ、上記表の制限外とする。

ハ. 半期科目も1科目とする。

(注意) 進級規程の改正に伴い昭和63年度より、昭和61年度以前入学生についても「A. 昭和62年度以降入学生適用」の履修科目制限を適用する。昭和61年度以前入学生は、今年度の履修届にあたって慎重に履修計画をたて、上級学年に過重な負担を持ち越さないよう十分注意すること。

II) 登録上の注意

- イ. 履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し、学生証提示の上提出すること。(提出しない場合は学業の意志のないものとして処理する。なお、指定日時に提出できないものは事前に教務部窓口にご相談すること。)
- ロ. 履修届の日時、場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。
- ハ. 所属する学科以外の授業科目は登録できない。ただし、課程・講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが、その場合は教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。
- ニ. 履修登録しない授業科目はたとえ聴講、受講しても単位は与えない。
- ホ. 授業科目の追加登録は一切認めない。
- ヘ. 「単位履修届」用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

2. 履修届記入上の注意

授業時間表(例)

		月 曜 日		
	授 業 科 目	科 目 コ ー ド	担 任	担 任 コ ー ド
一 時 限	ド イ ツ 語 1G	512201	百 済	879
	~~~~~			
二 時 限	保健体育理論(前期)	514201	長 濱	A10
	保健体育理論(後期)			622
~~~~~				
三 時 限	宗 教 学 I	510101	平井(俊)	735
~~~~~				
四 時 限	論 理 学	510203	國 嶋	306
	~~~~~			
五 時 限	自然科学概論	510401	宇和川	104
	~~~~~			

正しい記入例

曜日	時 限	再 履	科 目 名	科目コード	担 任	担任 コード
月 (1)	1		ド イ ツ 語 1G	512201	百 済	879
	2		保健体育理論(前期)	514201	長 濱	A10
	3		宗 教 学 I	510101	平井(俊)	735
	4	○	論 理 学	510203	國 嶋	306
	5		自然科学概論	510401	宇和川	104

- イ. 楷書体で正確に記入すること。
- ロ. 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
- ハ. 授業時間表のとおり記入すること。
- ニ. 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、前期終了科目は上段・後期終了科目は下段に記入すること。
- ホ. 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。

へ。履修届はコンピューターで処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。

- (1) 科目名・科目コード，担任名・担任コードが一致しない場合
- (2) 時限を誤って記入した場合
- (3) 間違い易い数字で記入した場合（例 0と6，1と7）
- (4) その他，不明瞭に記入した場合

ト。体育実技の記入方法は，授業時間表に載っている科目コード・担任コードを正しく記入すること。

チ。自己の責任において，必ず指定された日・時・場所に提出すること。

リ。履修届の本人控を正確に記入し，紛失しないように保管すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により，各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが，その場合必修科目，選択必修科目，選択科目の順序で決定すること。また，一般教育科目・外国語科目・保健体育科目および基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し，上級学年に進むに従い専門教育科目，課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合，次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

順 序	授 業 区 分	授 業 科 目 (適 用)	科 目 数
1	一 般 教 育 科 目	宗教学Ⅰ (必修)	1
2	外 国 語 科 目	第1外国語，第2外国語 (選択必修)	4
3	保 健 体 育 科 目	保健体育理論(半期)，体育実技Ⅰ (必修)	2
4	基 礎 教 育 科 目	経済学概説，経営学概説 (必修)	2
5	専 門 教 育 科 目	簿記学 (必修)	1
6	一 般 教 育 科 目	人文分野 } 社会分野 } 自然分野 } 開講科目の中から4または5科目を 選択必修(不足単位は2年次で履修)	5
	専 門 教 育 科 目	プロゼミⅠ (選択)	
1年次履修制限科目数			15

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月から2月にかけて実施される。
- ロ. 正規の手続きを経て履修登録した授業科目のみ受験できる。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、論題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担任名・論題・学科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとじた上で提出すること。  
なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。  
(注意) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は平常時間割と曜日、時限とも変わるので試験時間および教場割等については掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目によって担任者が中間考査として任意に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I) 追試験

- イ. 追試験は、やむを得ない理由があり定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその理由を記入し、自分の全ての試験終了後直ちに届け出ること。(締切日は掲示板参照)
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II) 再試験

- 1・2・3年次生については、再試験は一切実施しない。  
卒業年次生に限り下記により実施する。
- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目500円とする。

#### III) 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技、演習は追・再試験ともこれを行わない。
- ロ. 外国語科目についても追・再試験を行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後直ちに担任教員に申し出て指導を受けること。

#### 4. 受験心得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日・時・試験場（教場）で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中、机上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し、受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 学部・学科・学年・学生番号・氏名の記入はペン又はボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意すること。
- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し、試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場（教場）においては、すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場（教場）の秩序を乱したり、試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意すること。
  - (1) 代人として受験したり、又は代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机、壁等への書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり、書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作、メモその他の方法で連絡をしたり、連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり、すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。
- ワ. 学生証を忘れた場合は仮受験票により受験することができる。仮受験票の発行については、教務部窓口にて手続きをすること。

#### 5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優（100点～80点）、良（79点～70点）、可（69点～60点）および不可（59点～0点）とし、優、良、可を合格、不可は不合格として発表する。  
なお、素点に関する問い合わせは一切受付ない。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験（4年次生のみ）の成績評価は良(70点)以下とする。

#### 6. 試験時間

定期試験実施時間（前期・後期とも）		追(再)試験実施時間(前期)	追(再)試験実施時間(後期)
1時限 9：30～10：30	4時限 14：30～15：30	1時限 16：10～17：00	1時限 9：30～10：20
2時限 11：00～12：00	5時限 15：50～16：50		2時限 10：50～11：40
3時限 13：00～14：00	6時限 17：10～18：10	2時限 17：10～18：00	3時限 13：00～13：50
			4時限 14：10～15：00
			5時限 15：20～16：10

試験実施規程（抜粋）が掲載されている（P. 27）ので参照のこと。

## VI 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得した単位数により進級および注意進級とし、基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

- 注意進級とは、進級の基準単位数には達していないが教育指導のうえ進級を認めるものである。  
これによる進級者は、修得単位数が少ないために次年度に原級留置となったり、卒業が困難となる場合もあるので、十分反省して勉学に努める必要がある。
- 修得単位数が注意進級の基準単位数に達しない場合は、原級とし、同一学年に留め置くものとする。

修得単位基準表（単位は卒業所要単位のうちとする。）

		1年次から2年次	2年次から3年次	3年次から4年次
昭和62年度以降入学生適用	進級	30単位以上	60単位以上	90単位以上修得し、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目を全て修得していること。
	注意進級	29～20単位	59～48単位	86単位以上修得しているが、保健体育科目、外国語科目の不足単位数が12単位以下の場合。
	原級留置	19単位以下	47単位以下	85単位以下。または86単位以上修得しているが、保健体育科目、外国語科目が、13単位以上不足している場合。
昭和61年度以前入学生適用	進級	30単位以上	60単位以上	90単位以上修得し、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目を全て修得していること。
	注意進級	29～20単位	59～50単位	90単位以上修得しているが、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が1～16単位不足している場合。
	原級留置	19単位以下	49単位以下	89単位以下。または90単位以上修得しているが、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が、17単位以上不足している場合。

- 61年度以前入学生についても昭和63年度から「62年度以降入学生適用の進級規程」を一斉に適用するので計画的に単位を修得しておく必要がある。  
進級規程が掲載されている（P.29・30）ので参照のこと。

## VII 教職課程・資格講座

経営学部で開講されている資格取得の課程・講座は、教職課程、学校図書館司書教諭講座、社会福祉主事講座および社会教育主事講座である。(ただし、社会福祉主事講座は59年度以降の入学生より適用。)

教職課程は、教員資格取得のためのもので、本学において教職課程の所定単位を修得したものは、中学校1級・高等学校2級の各普通免許状が取得できる。

学校図書館司書教諭、社会福祉主事および社会教育主事の各講座は、学校教育を充実することを目的とする学校図書館、社会福祉を増進させるための機関等、および青少年に対して行われる組織的な教育活動である教育施設の各専門職員となる有資格者を養成するために設けられている。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋(11月中旬)に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」および「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。(授業科目の講義内容は当該履修要項の講義内容を参照すること。)

なお、ガイダンスの日時等については、実施1カ月前より掲示板で、その旨指示する。

### 開講されている課程・講座

課 程 ・ 講 座 名	備 考
教 職 課 程	2年次より
学校図書館司書教諭講座	〃
社会福祉主事講座	〃 59年度入学生より適用
社会教育主事講座	〃

## VIII 事務取扱いについて

### 1. 成績発表・成績証明書

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については、成績質疑応答期間内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし、評価の質疑については直接担任教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。
- ニ. 成績証明書は、卒業年度生以外は原則として発行しない。

### 2. 授業時間

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第 1 時限	第 2 時限	第 3 時限	第 4 時限	第 5 時限
時 間	9 : 00～10 : 30	10 : 40～12 : 10	12 : 50～14 : 20	14 : 30～16 : 00	16 : 10～17 : 40

### 3. 事務室の事務受付時間

- イ. 事務室の事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表・各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

### 4. 休 講

- イ. 休講は担任教員より連絡があり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。従って、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑦番窓口申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、国電（山手，中央，京浜東北）もしくは東急がストを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 5. 掲 示

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 6. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要があるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。



## X 学籍について

### 1. 修業年限と在学年数

- イ. 修業年限とは、大学の教育課程修了に必要な期間のことで、本学の修業年限は4年である。
- ロ. 在学年数とは、大学において学生の身分を有していられる期間のことで、本学の在学年数は休学期間を除き7年と定めている。

### 2. 休学

傷病その他の理由で引き続き2カ月以上修学することができない者は、その理由を付して、保証人連署の休学願を提出し、許可を得て休学することができる。

#### I) 休学の手続き

- イ. 休学願に添えて次の書類を提出すること。
  - (1) 傷病の場合は、医師の診断書
  - (2) 外国で修学する場合は修学先・修学目的・在留期間を証明する書類
  - (3) その他の理由の場合は、保証人連署の休学を必要とする理由書
- ロ. 休学の手続き期限は当該年度の11月30日までとする。
- ハ. 休学理由が休学許可日より2カ月未満の期間内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがある。

#### II) 休学の期間

- イ. 休学の期間は1学年を区分とし、休学の許可を受けた日から当該年度の3月31日までとする。
- ロ. 引き続き休学を要する特別な事情があるときは、許可を得てさらに1カ年に限り休学することができる。
- ハ. 休学期間は通算4カ年を超えることはできない。
- ニ. 休学が許可された年度は在学年数に算入しない。

#### III) 休学する場合の学費

休学を願い出る者は当該期の学費を納入していること。

休学願提出日	学費
4月1日～9月30日	前期分納入済のこと。(後期分免除)
10月1日～11月30日	前期分・後期分共納入のこと。

#### IV) 休学原級

休学を許可された者は、翌年度は現学年に原級留置とする。

### 3. 復学

- イ. 休学者が復学する場合は、前期学費を納入の上、保証人連署の復学願を4月7日までに提出し、許可を得ること。
- ロ. 傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の証明書を添えること。

#### 4. 退学

傷病その他やむを得ない理由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し、許可を得ること。

- イ. 退学願は、退学理由を明記し保証人連署で願い出ること。
- ロ. 退学願提出時に学生証を返却すること。
- ハ. 退学年月日については、次のとおりとする。
  - (1) 当該期学費納入者……退学願提出日
  - (2) 当該期学費未納者……学費納入済学期の最終日

#### 5. 除籍

次の事項に該当する者はこれを除籍する。

- イ. 在学年数を越えた者
- ロ. 休学期間を越えた者
- ハ. 学費の納入を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

#### 6. 懲戒

- イ. 本学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、情状により譴責、停学、退学の処分をする。
- ロ. 退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行う。
  - (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - (3) 正当の理由がなくて出席常でない者
  - (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

#### 7. 再入学

本大学を中途退学した者で、再入学を希望する者があるときは選考の上許可する。

- イ. 退学後3年以内の者に限る。(出願時を基準とする。)
- ロ. 在学年数が、従前在学の期間と、再入学後卒業までの期間の通算が7年以内で修業できる見込みの者。
- ハ. 1年次在学中に退学した者、除籍者および退学処分者は対象としない。
- ニ. 再入学志望学科は、従前在学の学部・学科であること。
- ホ. 再入学の年次は、退学時の年次(進級可能な場合は進級年次)とし、従前在学中に取得した単位は原則として認定する。

#### 8. 編入学(学士入学)

本大学卒業生(卒業見込者)で卒業学部他学科または他学部学科の3年次または2年次に編入学を希望する者のあるときは、欠員のある場合に限り、選考の上入学を許可する。

- イ. 3年次編入を出願していても、志望学科の単位認定の結果、2年次に入学を許可することがある。
- ロ. 3年次または2年次に編入学を許可された者は、既に、それぞれ2年または1年の在学年数を経たものとする。

## 9. 転部・転科

本学の学生で、同一学部他学科または他の学部学科に転科若しくは転部を希望する者があるときは、選考の上許可することがある。(学科により異なる。)

転部・転科した者の在学年数は、転部・転科した年次にかかわらず、入学の時期から通算する。

## 10. 学生氏名・保証人

- イ. 届け出の学生氏名は戸籍抄本または外国人登録済証明書に記載されたとおりとする。
- ロ. 外国人登録済証明書に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得ること。
- ハ. 通称名使用の許可を得た者は、本学在学中一貫して通称名を使用することとし、本学発行の証明書、成績表、各種名簿等はすべて通称名で表示する。
- ニ. 保証人は日本国内に在住する親権者若しくはそれに準ずる者で、独立の生計を営む成年者とし、在学中の一切の事項について保証する者とする。
- ホ. 学生・保証人の氏名・住所等に変更があったときは、すみやかに所定の変更届を提出すること。

## 11. 学生番号

- イ. 昭和62年度より、従来使用していた学生番号(8桁)を改め新規の学生番号を設定する。
- ロ. 学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておくこと。
- ハ. 学生番号は6桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせてある。

### 学生番号区分

⋮	⋮	⋮	—		
学	学	入	一		
部	科	学	連		
		(西	番		
		年	号		
		) 曆	度		
		度	号		

### 学部・学科の番号

学部・学科名	学部番号	学科番号
仏 教 学 部	1	
禅 学 科		1
仏 教 学 科		2
文 学 部	2	
国 文 学 科		1
英 米 文 学 科		2
地 理 学 科		3
歴 史 学 科		4
社 会 学 科		5
経 済 学 部	3	
経 済 学 科		1
商 学 科		2
法 学 部	4	
法 律 学 科		1
政 治 学 科		2
経 営 学 部	5	
経 営 学 科		1

(例) 1987年度入学・経営学部経営学科 12番の場合

5	1	7	0	1	2
⋮	⋮	⋮	—		
経	経	一	12		
営	営	九	番		
学	学	八	号		
部	部	七	年		
		) 入	学		
		学	部		
		部	学		
		学	科		
		科	部		
		部	学		
		学	部		
		部	学		
		学	科		

## X 既修得単位の認定について

### イ. 新たに第1年次に入学した者の既修得単位の認定

- (1) 他の大学または短期大学（外国の大学または短期大学を含む）を卒業または中途退学し、新たに本学の第1年次に入学した者については、学則第30条の2により、従前在学した大学等において既に修得した授業科目の単位のうち、一般教育科目、外国語科目および保健体育科目については、合計30単位を超えない範囲で本学において修得した単位として認定することができる。
- (2) 既修得単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の4月3日までに既修得単位認定申請書（所定様式）に成績（単位修得）証明書を添えて、教務部長に願い出なければならない。
- (3) 既修得単位の認定は、教務部長を経て当該教授会がこれを行う。

### ロ. 編入学者の単位認定

従前在学中に修得した授業科目の単位のうち、出願時に提出された成績（単位修得）証明書をもとに当該教授会で認定した授業科目の単位は、卒業所要単位に算入される。

### ハ. 再入学者の単位認定

従前在学中に修得した授業科目の単位については、再入学時に提出された成績（単位修得）証明書をもとに当該教授会でこれを認定する。

### ニ. 転部・転科者の単位認定

従前在学中に修得した授業科目の単位のうち、出願時に提出された成績（単位修得）証明書をもとに当該教授会で認定した授業科目の単位は、卒業所要単位に算入される。

この単位認定については、昭和62年度新入生、編入学者、再入学者および転部・転科者から適用する。

## XI 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類		要 領 (必要書類)	本人印	保証人印	取扱窓口
届 書	単 位 履 修 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・各年度に単位修得しようとする授業科目を指定期日に必ず届け出ること。</li> </ul>	要	不要	掲示
	欠 試 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・本人履修全科目の試験終了後直ちに届け出ること。(締切日は掲示参照)</li> </ul>	不要	不要	⑨
	改 氏 名 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・戸籍抄本添付。</li> <li>・変更後1週間以内。</li> </ul>	要	不要	⑤
	本 籍 地 変 更 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・戸籍抄本添付。</li> <li>・変更後1週間以内。</li> </ul>	要	不要	
	保 証 人 変 更 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・在学誓書(保証書)添付。</li> <li>・変更後1週間以内。</li> </ul>	要	要	
	保 証 人 住 所 変 更 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・変更後1週間以内。</li> </ul>	要	不要	
	死 亡 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・死亡診断書添付。</li> </ul>	/	要	
願 書	休 学 願	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・傷病による場合は、医師の診断書添付。</li> <li>・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在学期間を証明する書類。</li> <li>・その他の場合は、保証人連署の理由書。</li> </ul>	要	要	⑤
	復 学 願	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・傷病による休学をした場合は、医師の通学可能である証明書添付。</li> <li>・4月7日までに提出すること。</li> </ul>	要	要	
	退 学 願	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・学生証添付。</li> </ul>	要	要	

## XII 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）	教務部④番	1通 100円  (英文証明書) (1通 300円)
成 績 証 明 書		
卒 業 証 明 書		
学 士 証 明 書		
教員免許状取得見込証明書		
単 位 修 得 証 明 書 (教職, 司書教諭, 学芸員, 社会教育, 社会福祉)		
一般教養科目修了（見込）証明書		
そ の 他 の 諸 証 明 書	就 職 部	
人 物 考 査 書		
健 康 診 断 証 明 書	学生部③番	
在 学 証 明 書	学生部②番	
学 割		無 料
通 学 証 明 書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料も同様）の上、取扱い窓口に申し込むこと。発行は原則として3日後。

教務部取扱い証明書は、6月下旬から9月中旬までと3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。

## 試験実施規程（抜粋）

（昭和59年7月13日制定）

### （目的）

第1条 この規程は、駒沢大学（以下「学部」という。）、駒沢短期大学（以下「短大」という。）、駒沢大学大学院（以下「大学院」という。）の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

### （試験の実施）

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

### （試験の種類及び実施の時期）

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
  - (2) 追加試験（以下「追試験」という。） 病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
  - (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について、臨時に行う試験をいう。
  - (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。
2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。
3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときは、これを実施しない。
- (1) 学部1・2・3年次生の再試験
  - (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をともなう授業科目の追試験及び再試験
  - (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

### （試験の方法）

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

### （試験時間）

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

### （受験資格）

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試験及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点~80点)、良(79点~70点)、可(69点~60点)、不可(59点~0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

この規程は、昭和59年7月13日から施行する。



## 進 級 規 程（62年度以降入学生適用）

（昭和51年4月1日制定）

昭和62年2月23日改正

### （目 的）

第1条 この規程は、駒沢大学学則第14条に基づき、学生が上級学年に進級するために必要な修得単位数の基準を定めることを目的とする。

### （進級基準単位数）

第2条 学生が上級学年に進級するときは、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得していなければならない。

- (1) 1年から2年に進級するときは、30単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年に進級するときは、60単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年に進級するときは、仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、経済学部第2部、法学部第2部、経営学部第2部においては90単位以上、法学部においては99単位以上を修得していること。ただし、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の所要単位をすべて修得していなければならない。

### （注意進級基準単位数）

第3条 前条の規定にかかわらず、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得しているときは、本人に注意を喚起し、上級学年への進級を認めることができる。

- (1) 1年から2年への進級を認めるときは、20単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年への進級を認めるときは、経営学部及び経営学部第2部においては48単位以上、他の学部においては50単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年への進級を認めるときは、次に掲げる条件の一に該当していること。
  - ア. 仏教学部、文学部、法学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。
  - イ. 経済学部及び経済学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が16単位以下であること。
  - ウ. 法学部においては、99単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。
  - エ. 経営学部においては86単位以上、経営学部第2部においては84単位以上を修得し、かつ、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

### （原 級）

第4条 修得単位数の合計が、注意進級基準単位数に達しない者は、原級に留め置くものとする。

### 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、昭和61年度以前の入学生については、昭和63年3月31日までは、なお、従前の進級規程によるものとする。

## 進 級 規 程（61年度以前入学生適用）

（昭和51年4月1日制定）

### （目 的）

第1条 この規程は、駒沢大学学則第14条に基づき、学生が上級学年に進級するために必要な修得単位数の基準を定めることを目的とする。

### （進級基準単位数）

第2条 学生が上級学年に進級するときは、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得していなければならない。

- (1) 1年から2年に進級するときは、30単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年に進級するときは、60単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年に進級するときは、仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、経済学部第2部、法学部第2部、経営学部第2部においては90単位以上、法学部においては99単位以上を修得していること。ただし、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の所要単位をすべて修得していなければならない。

### （注意進級基準単位数）

第3条 前条の規定にかかわらず、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得しているときは、本人に注意を喚起し、上級学年への進級を認めることができる。

- (1) 1年から2年への進級を認めるときは、20単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年への進級を認めるときは、50単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年への進級を認めるときは、次に掲げる条件の一に該当していること。

ア. 仏教学部、文学部、法学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

イ. 経済学部、経営学部、経済学部第2部、経営学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が16単位以下であること。

ウ. 法学部においては、99単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

### （原 級）

第4条 修得単位数の合計が、注意進級基準単位数に達しない者は、原級に留め置くものとする。

### 附 則

#### 省 略

（注）61年度以前入学生についても昭和63年度から「62年度以降入学生適用の進級規程」が適用される。

## 講 義 内 容 目 次

一 般 教 育 科 目 .....	(35)
保 健 体 育 科 目 .....	(39)
随 意 科 目 .....	(40)
基 礎 教 育 科 目 .....	(43)
専 門 教 育 科 目 .....	(44)
教 職 お よ び 資 格 講 座 .....	(53)



## 一般教育科目

### 人文分野

宗教学Ⅰ(佐藤 達玄)……………	35
宗教学Ⅰ(阿部 慈園)……………	35
宗教学Ⅰ(伊藤 隆寿)……………	35
宗教学Ⅰ(山内 舜雄)……………	35
宗教学Ⅰ(再クラス)(岡部 和雄)……………	35
宗教学Ⅰ(再クラス)(奈良 康明)……………	35
宗教学Ⅱ(皆川 広義)……………	35
宗教学Ⅱ(椎名 宏雄)……………	35
宗教学Ⅱ(石井 修道)……………	36
宗教学Ⅱ(中尾 良信)……………	36
哲学(久保 陽一)……………	36
論理学(小宮山 隆)……………	36
倫理学(山下 太郎)……………	36
文学(高田 知波)……………	36
歴史学(茂澤 方尚)……………	36

### 社会分野

法学憲法(西 修)……………	37
法学憲法(茂野 隆晴)……………	37
社会学(岩上 真珠)……………	37
地理学(中島 義一)……………	37
統計学(原田 桂一郎)……………	37
文化人類学(小島 清志)……………	37
文化人類学(村武 慶)……………	37

### 自然分野

自然科学概論(清水 善和)……………	38
自然科学概論(斎藤 浩三)……………	38
自然科学概論(篠原 正雄)……………	38
数学(福田 賢一)……………	38
心理学(大塚 秀治)……………	38
心理学(鈴木 順一)……………	38

## 保健体育科目

保健体育理論(長濱 友雄)……………	39
保健体育理論(高橋 俊介)……………	39
保健体育理論(再クラス)(三幣 晴三)……………	39
保健体育理論(再クラス)(森本 葵)……………	39

## 随意科目

比較思想特講(窪 徳忠)……………	40
英会話Ⅱ(J. ウェルズ・J. G. ギャリソン・ T. J. コーガン・P. A. ベンディネリイ)……………	40
英語LILⅡ(T. J. コーガン・見上 晃)……………	40
ドイツ語F(吾妻 雄次郎)……………	40

ドイツ語FLL(初級)(小林 佳世子)……………	40
ドイツ語FLL(中級)(野島 利彰)……………	40
フランス語F(佐伯 隆幸)……………	40
フランス語FLL(初級)(松岡 宏一)……………	40
フランス語FLL(初級) (マドレーヌ・マルタン)……………	41
フランス語FLL(中級) (マドレーヌ・マルタン)……………	41
中国語F(釜屋 修)……………	41
中国語FLL(初級)(果 荃英)……………	41
中国語FLL(中級)(羅 濛明)……………	41
スペイン語F(佐藤 玖美子)……………	41
スペイン語FLL(初級)(ホワン・ナバロ)……………	41
スペイン語FLL(中級)(ホワン・ナバロ)……………	41
ロシア語F(杉山 秀子)……………	41
ロシア語FLL(初級)(タチアナ・野村)……………	42
ロシア語FLL(中級)(タチアナ・野村)……………	42
英語(海外演習)……………	42

## 基礎教育科目

経済学概説(滝田 公一)……………	43
経営学概説(宮城 徹)……………	43

## 専門教育科目

簿記学(長松 秀志)……………	44
簿記学(久松 治夫)……………	44
簿記学(片桐 伸夫)……………	44
簿記学(木下 照嶽)……………	44
簿記学(東海 幹夫)……………	44
簿記学(高木 克己)……………	44
プロゼミⅠ(経営コース)(渡辺 行男)……………	44
プロゼミⅠ(会計コース)(中平 榮一)……………	45
プロゼミⅠ(経済コース)(池田 健)……………	45
経営学(北村 健之助)……………	45
会计学(渡辺 恵一郎)……………	45
経営史(前田 和利)……………	45
経営管理論(鈴木 幸毅)……………	45
企業形態論(渡辺 行男)……………	45
プログラミング論(清水 忠良)……………	45
原価計算論(近藤 禎夫)……………	45
経済原論(中村 雄次郎)……………	46
日本経済史(北島 万次)……………	46
統計原論(後藤 儀一郎)……………	46
民法Ⅰ(山崎 敏彦)……………	46
プロゼミⅡ(経営コース)(石名坂 邦昭)……………	46
プロゼミⅡ(経営コース)(北村 健之助)……………	46
プロゼミⅡ(経営コース)(鈴木 幸毅)……………	46

プロゼミⅡ(経営コース)(前田 和利).....	46
プロゼミⅡ(会計コース)(近藤 禎夫).....	47
プロゼミⅡ(経済コース)(永田 智則).....	47
商 法 Ⅰ(荒木 正孝).....	47
アメリカ経営学(宮城 徹).....	47
経営財務論(高田 光明).....	47
経営労務論(安藤 喜久雄).....	47
経営技術論(小野寺 孝一).....	47
経営情報論(加藤 武信).....	48
経営科学(日下 泰夫).....	48
公益企業論(石井 彰次郎).....	48
マーケティング論(武田 康).....	48
商業経営論(森宮 勝子).....	48
保険経営論(石名坂 邦昭).....	48
銀行経営論(近沢 敏里).....	49
貿易経営論(武田 康).....	49
日本経営史(斎藤 憲).....	49
経営統計(後藤 儀一郎).....	49
上級簿記(渡辺 恵一郎).....	49
財務会計論(久松 治夫).....	49
管理会計論(長松 秀志).....	49
経営分析論(片桐 伸夫).....	50
税務会計論(高木 克己).....	50
会計監査論(中平 榮一).....	50
証券市場論(柿崎 暎次).....	50
商 業 史(山田 勝).....	50
経済政策(西山 司).....	50
財 政 学(速水 昇).....	50
金 融 論(石野 典).....	50
国際経済論(永田 智則).....	51
国際金融論(池田 健).....	51
日本経済論(羽鳥 茂).....	51
民 法 Ⅱ(上井 長久).....	51
外書講読(英)(滝田 公一).....	51
外書講読(英)(平山 健二).....	51
外書講読(英)(木下 照嶽).....	51
外書講読(独)(百済 勇).....	52
外書講読(仏)(中村 雄次郎).....	52
外書講読(中)(松本 丁俊).....	52
外書講読(ス)(佐藤 玖美子).....	52
商 法 Ⅱ(島原 宏明).....	52
労 働 法(浜村 彰).....	52

# 一般教育科目

## 人文分野

### 宗教学 I

佐藤達玄

宗教の本質と諸形態等，宗教学の基礎的諸問題を始めとして，宗教の文化的，社会的意義を明らかにし，併せて仏教の特質を考究したい。

〔教科書〕『宗教学 I』（更生社）

### 宗教学 I

阿部慈園

宗教に対する全般的理解を深め，特に仏教（とりわけ禅）に対する基礎的学識を培う。『宗教学 I』（更生社）をテキストと用いるが，随時ノートにて補う。

〔教科書〕『宗教学 I』（更生社）

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I

伊藤隆寿

宗教とは何かという問題について，その基本的テーマを取り上げて考えてみたい。また日本人にとって身近な宗教である仏教に対する理解を深めるようにする。

〔教科書〕『宗教学 I』（更生社）

### 宗教学 I

山内舜雄

教科書を使用する。下記宗教学 I。一般宗教学の入門から，世界の諸宗教を概説して仏教に至り，特に大乘仏教について詳説する。

〔教科書〕山内舜雄編『宗教学 I』（駒沢書房）

### 宗教学 I（再クラス）

岡部和雄

前半では宗教とは何かという問題について，現代のアクチュアルなテーマをとりあげて具体的に考えていく。また後半では仏教に的をしぼり，その基本的輪郭を明らかにしようと思う。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

『仏教の歩んだ道 I』（東京書籍）

### 宗教学 I（再クラス）

奈良康明

人間生活における宗教，仏教の意味，機能および構造を「宗教文化史」研究の枠組の中であきらかにしてゆきたい。出来るかぎり，現代の私たちの生活とのかかわりの中で諸テーマを考える。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

『仏教のおしえ』（東京書籍）

### 宗教学 II

皆川広義

はじめに，日本人の心に大きな影響をあたえてきた仏教について，教主釈尊の教えを中心に概説する。

次に，仏教のなかで，生活化された仏教といわれる禅について，その歴史を中国・日本へとたどりながら，思想や創造した禅文化について考究したい。

〔教科書〕山内舜雄編『宗教学 II』（更生社）

### 宗教学 II

椎名宏雄

宗教学 I で学習した基礎の上に立ち，仏教思想の中でも特に東洋的な多くの特長をもつ禅について，広い視野からの総合的な理解を目指す。

講義はノート筆記を主とし，(1)仏教と禅，(2)禅の歴史(3)禅の実践，(4)禅の思想，(5)禅と文化，(6)禅と経営，の順に進める。学習とは，それを理解し身につけることであって，試験のために暗記することではならない。

したがって、講義の中で、随時に関連したテーマをとりあげ、現実の問題として学生諸君とともに考えてゆきたい。坐禅の実習も行う。

〔参考書〕 鎌田茂雄『現代人の仏教』（月刊ペン社）

## 宗 教 学 II

石 井 修 道

駒沢大学で行われている宗教学IIとは、宗教学とは何か、仏教とは何かを学んだ宗教学Iの後を承けて、禅とは何かについて具体的に学ぶ課題である。インドからやって来たダルマを開祖とする禅は、何よりも実践を重んじているので、第一はその思想が生まれてくる背景は何かをまず学びたい。次にダルマ以降に発展する禅では、自己への問いかけを重要課題とするので、第二は禅という自己とは何かを問題にして行きたい。第三は禅の歴史の上にあられる個性的な禅者を通して、禅が何をめざしているかを考えたい。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学II』（更生社）  
¥ 1,950

## 宗 教 学 II

中 尾 良 信

宗教学Iで、仏教の一般的理解をすすめたあとを承け、禅、とくに中国・日本の禅の歴史を詳しく考える。中国の禅についても、日本との関係、影響を与えた点に言及し、日本の禅については、日本仏教全体の中で捉えることを主眼とする。また禅の持つ文化的側面をも考え、あわせて曹洞宗に対する基本的理解をすすめたい。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学』（更生社）

## 哲 学

久 保 陽 一

人間は生れつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも思想を表わし、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているのかわからない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならない。そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識の獲得にも努める。

〔教科書〕 その都度指示する。

## 論 理 学

小宮山 隆

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はむしろのこと日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解や習得に努める。

〔教科書〕 その都度指示する。

## 倫 理 学

山 下 太 郎

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探究する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか理性的行為といわれるものは、人生の原理（人生観）や世界の原理（世界観）に従った行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の確立に努める。

〔教科書・参考書〕 その都度指示する。

## 文 学

高 田 知 波

『坊ちゃん』『こころ』『舞姫』等最もポピュラーな近代小説をとりあげ、それらがいずれも<一人称小説>である点にも注目しながら、新しい角度から作品を読み直してみたい。

〔教科書〕 『坊ちゃん』（新潮文庫）  
『こころ』（新潮文庫）  
『阿部一族・舞姫』（新潮文庫）

## 歴 史 学

茂 澤 方 尚

中国古代史、特に先秦時代の西北方の少数民族の動向を中心にしながら、基本的な文献について講述する。

〔参考書〕 その都度適宜に指示する。



## 社会分野

### 法学憲法

西 修

法学においては、法のご概念、法のご目的、法のご種類、法のご解釈など、法を知る上において必要な知識を取得できるようにする。

憲法においては、日本国憲法のご各章につき、学説、判例などをとり入れ、その全体像を理解できるようにする。本年は日本国憲法施行40年の節目になるので、その利定過程についても言及していきたい。

〔教科書〕 関口雅夫・西 修編『法学憲法』（方円書林）¥2,500

〔参考書〕 その都度指定。

### 法学憲法

茂野隆晴

平素のご日常生活のなかでは余り意識されることがないかもしれないが、われわれは多種多様な法制に困繞されており、ときにそれによって重大な影響を被ることも少なくない。こうした状況のもとで、正しい法知識、法的素養を身につけることは必須の要件といつてよい。

法律は、ともすれば無味乾燥なものと理解されている向きがある。そこで、成るべく身近な問題に照して平易に講述していく。

講義は、前半で、わが国の法制の歴史的変遷、現代国家の仕組みなどを概観したうえで、現代法のご特性に及ぶ。後半では、教養としてのご憲法を念頭におき、憲法全般の解釈をおこなう。

〔教科書〕 山口嘉三・大久保治男編『法学要説』（芦書房）

〔参考書〕 適宜指示します。

### 社会学

岩上真珠

社会学のご基本的な概念である集団、組織、制度を中心に、個人と社会の関係について論ずる。講義では、できるだけ身近なテーマを取り上げながら、社会学的なもの見方を身につけてもらうことを目指す。

〔教科書〕 『テキストブック社会学(1)入門社会学』（有斐閣ボックス）¥1,200

〔参考書〕 J. ボワセパン著『友達の友達』（未来社）1986 ¥4,000

### 地理学

中島義一

地理学のご諸分野のうち、日本の歴史地理に重点をおいで講義する。下記のご教科書のほか、地図帳（高校生のご時に使ったものでよい）を忘れずに持つてくること。

〔教科書〕 矢守一彦『空から見た歴史景観』（大明堂）¥2,000

### 統計学

原田桂一郎

統計学を学ぶことは、それぞれが専攻する領域において、統計的方法を利用できるようにするための準備である。本講義では、人文・社会科学の領域で統計学を役立てようとする者にとって必須の基礎知識を解説する。

講義の順序は、(1)統計学全体のご展望、(2)データのご整理と記述、(3)確率論の基礎、(4)統計的推測の基礎、(5)回帰分析の理論、である。

とかく、統計学を数学だらけの厄介なものとして敬遠しがちであるが、本講義は四則演算がわかっていれば、理解できる程度のものとしたい。

〔教科書〕 中村隆英・新家健精・美添泰人・豊田敬著『統計入門』（東京大学出版会）¥2,200

### 文化人類学

小島清志

現代のごとく情報が広範に錯綜する社会において、自分と他者がより良く共存するために、その根底とすべき柔軟な視座はどこに求められるのか。またこの社会と文化をいかにとらえることが可能なのか。それは我々の生き方と直接結びついてくる問題であろう。文化人類学は解決への一つの入口を与えてくれる方法となりうるであろう。身近な経験や見聞なども手がかりにしながら、一緒に模索していきたい。

〔教科書〕 教科書は特に指定せず、講義中に参考書を適宜紹介する。

### 文化人類学

村武慶

私達は、ややもすると、自分達のご生活様式、家族・親族の形態、自分達のご宗教を最高のもものと思いがちであるが、必ずしもそうではないことを、いろいろな民族、社会を比較して学んでいきたい。

- 〔教科書〕 『文化人類学を学ぶ』（有斐閣選書）  
 ¥1,100  
 〔参考書〕 『文化人類学』（有斐閣双書）

## 自然分野

### 自然科学概論

清水善和

核と原子力、人口と食糧、バイオテクノロジー、環境汚染、自然保護など、現在地球の規模で話題となっている諸問題を取りあげ、自然と人間とのかかわりあいについて考える。

### 自然科学概論

斎藤浩三

わが国においては、大規模な工業化と急速な都市開発が進展しており、エネルギーの大量消費や人口の都市集中にともなって各種の環境問題が深刻になっている。その様相も複雑化・多様化しつつあって、有害物質による汚染のほかに、感覚公害も社会生活に大きな障害を与えるようになった。さらに汚染は国内だけでなく、遠隔地の海洋・河川・大気にまで拡散してきて、国際規模での改善対策が急務となってきた。そこで環境破壊や自然災害の実態をさぐり、さらに公害防止技術についても平易に解説する。

〔参考書〕 必要に応じて紹介する。

### 自然科学概論

篠原正雄

古代から近代を経て現代に至る科学の歴史をたどり、自然科学の方法について学ぶ。また、今日の自然科学をめぐるさまざまな問題を考察する。

〔参考書〕 『自然科学概論』（東京教学社）  
 ¥1,800

## 数 学

福田賢一

現代数学の概念、方法を社会科学との関連、応用に力点をおき解説する。内容は次のとおりである。

(1)論理 (2)線形代数 (3)解析 (4)確率・統計  
 予備知識は特に必要としない。

〔教科書〕 『新しい数学』（東京教学社）¥1,400

## 心 理 学

大塚秀治

心理学は人間の“こころ”と“行動”をその研究対象とした科学である。ここでは心理学の基礎的な問題を学び、心理的な研究方法、考え方を身につける。また、時間が許せば簡単な実験を行い、実際の場面で理解を深める。なおこの講義は基礎心理学を中心に行うので、精神分析、カウンセリング等に関心のある諸君は選択すべきではない。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）

〔参考書〕 『新心理学』（八千代出版）

## 心 理 学

鈴木順一

自己理解のために、自分自身の心や性格をみつめてみる。最低5冊以上の参考文献を読み、自己分析・自己成長記録を提出し発表しなければならない。この授業の単位を取ることは極めて難しく主体的学習意欲が望まれる。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）

〔参考書〕 授業内で指示します。

# 保 健 体 育 科 目

## 保健体育理論

長 濱 友 雄

科学技術の発達と共に人間はだんだんと身体を動かすことが少なくなっている。医学の進歩とともに寿命も大巾にのびて高齢化社会をむかえている現在、我々はそれにどのように対応し、健康で有意義な生活を送るために体力を高めなければならないと考えるが、そのための方策について議義を進める。

## 保健体育理論

高 橋 俊 介

「身体のための教育」 「運動の別名」  
「運動による教育」 「ボールゲーム」  
「今日の体育運動のおいたち」 「技術学習」  
「健康の面から起った運動」  
「なぜ運動は必要か」  
「運動をすると身体にどんな影響をあたえるか」

## 保健体育理論（再クラス）

三 幣 晴 三

体育・スポーツに関する全般的知識、特に生涯体育、スポーツの文化的視点からの考察、人間の運動に関する実際の考察を中心とし、さらに現在および将来にむけての健康的内容を取りあつかう。

## 保健体育理論（再クラス）

森 本 葵

体力づくり

- <若年層における体力づくりの必要性>
- <体力のメカニズム>
- <体力づくりの方法>
- <体力づくりにかかわる疲労の問題>
- <疲労の判定法>

オリンピックゲーム

- <歴 史>
- <問題点>
- <その将来>

〔教科書〕 『保健体育理論』（科学書院）

〔参考書〕 スポーツ・トレーナー教本（日体協）

# 随 意 科 目

## 比較思想特講

窪 徳 忠

中国の文化、とくにその信仰・習俗のうちから道教に関連の深いと思われるものを選んで、日本で現行されている信仰・習俗との比較を扱ってみたい。地域的には沖縄や奄美地方が中心となるが、その他の地方にも言及する。なお、必要に応じてスライドを使用して、一層の理解を深める予定である。

〔参考書〕 窪『中国文化と南島』（第一書房）  
¥2,500

## 英 会 話 II

J. ウェルズ・J. G. ギャリソン  
T. J. コーガン・P. A. ベンディネリ

全学で4クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。

担任名及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認し、詳しくは教場で教師の説明に従って下さい。

〔教科書〕 テキストは担当教師が教場にて指示。

## 英 語 L L II

T. J. コーガン・見 上 晃

英語LLIのアドバンスト・コースとして全学で2クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。1年次に英語LLIを履修しなかった学生も参加し履修できるようにしてあります。

担任名及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認して下さい。

〔教科書〕 テキストは担当教師が教場にて指示。

## ド イ ツ 語 F

吾 妻 雄次郎

主として一、二年次でドイツ語を履修した学生諸君を対象に、第二次大戦前後の短編小説を通じて、ドイツの特異性の一端に触れ、同時にドイツ文法の更に包括的な習得につとめる。

〔教科書〕 プリントによる教材使用。

## ドイツ語 FLL (初級)

小 林 佳世子

ビデオテープ等の視聴覚教材を用いて、まず、生きたドイツ語に触れ、聴き取り能力をつけることをめざす。そして基本的な語彙や文型を身につけ、ドイツ語の基礎的な表現力を養成し、簡単な日常会話ができるようにしたい。テキストは教室で適宜配布する。

## ドイツ語 FLL (中級)

野 島 利 彰

週一回という限られた時間内で、LLを通して語学を学ぶ方法としては基本的には多数の文章の記憶以外にはない。耳から音を聴き、記憶し、そしてそれを口から出す。こうした機械的な——時には無味乾燥な——練習の場としてこの授業を活用して行きたい。

なお受講者には前年度にFLL (初級)をとった者を望む。

〔教科書・参考書〕 教場にて指示する。

## フ ラ ン ス 語 F

佐 伯 隆 幸

やさしいフランス語の教材を読みつつ、現代のフランス社会、文学のこと、また演劇のことなどを日本と対照させつつ講ずる予定です。教科書に類するものは教場で指示します。

## フ ラ ン ス 語 FLL (初級)

松 岡 宏 一

“Entrée Libre”を教材として用いる予定です。スライド画面とテープの音とを併用して、基礎的な表現能力を養成したいと思います。会話は、音を真似ることから始められなければならないので、積極的に授業に参加し、フランス語を聞いたり話すことに慣れるようにして

下さい。また、途中であきらめることなく、一年をとおして出席し、少しでも「フランス語」の中に入りこむことができるように、希望したいと思います。テキストは教場で配布します。

〔教科書〕 『Entrée Libre 1』

### フランス語 FLL (初級)

マドレーヌ・マルタン

初心者のための実用的なフランス語会話です。やさしい聞きとり練習や文章パターンの習得を通じて、基礎的な会話に必要な表現能力を養成することを目的とします。

テキストは教室で配布します。

〔教科書〕 『Avec Plaisir』 Emission 1より。

### フランス語 FLL (中級)

マドレーヌ・マルタン

初級会話にやや慣れた学生のための実用会話。初級会話を簡単に復習したあと、下記の教科書を使って、少し高度な聞きとり、及び表現の練習をします。

〔教科書〕 『Entrée Libre 1』

### 中国語 F

釜屋 修

すでに習得した中国語能力をいかしてより高く、より正確な中国語への理解力を高めるための共学の場である。最新の文学素材（短篇小说・評論文）を用いて文章解析力、朗読能力の向上に焦点をあてる。あわせて現代中国への理解の増進をも試みたい。

〔教科書〕 開講後に受講生諸君の希望も聞き選定する。

〔参考書〕 その都度指示する。

### 中国語 FLL (初級)

果 荃 英

中国語初級を終えたものを主たる対象とし、正確な発音をマスターし、やさしい中国語の会話を習得することを目的とする。視聴覚教材を使用して楽しく授業を進めたいと思う。

〔教科書〕 教場にてプリントを配布する。

### 中国語 FLL (中級)

羅 漾 明

中国語FLL初級を終えたもの又は中国語を一年以上履修したものを対象とする。会話を中心として授業を進めます。

〔教科書〕 必要に応じて教場でプリントを配ります。

### スペイン語 F

佐 藤 玖 美 子

スペイン文学と言えば、誰しもまず思い浮べるのはセルバンテスのドン・キホーテであろう。しかし、スペイン語を勉強する学生でも、この有名な作品を原文で読むものは案外少ない。本年度のスペイン語Fでは、現代語に書き改めたテキストを参照しながら、この世界の名著をできるだけ味わってみたいと思う。

〔教科書〕 プリント

〔参考書〕 ハイメ・フェルナンデス著『ドン・キホーテへの招待』（西和書林）

### スペイン語 FLL (初級)

ホワン・ナバロ

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。正規授業のスペイン語を履修している学生の受講を望みます。

### スペイン語 FLL (中級)

ホワン・ナバロ

前年度LL初級を終えたもの、またはそれと同等の学力を身につけているものを対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

### ロシア語 F

杉 山 秀 子

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力を身につけるため平易な読みもの——文学新聞の抜粋、諷刺漫画（クロコデ

イル), (スプートニク)などをさまざまな角度からとりあげていきたい。

〔教科書〕 プリントを教場で配布。

### ロシア語 FLL (初級)

タチアナ・野村

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔教科書〕 教場にて指示。

### ロシア語 FLL (中級)

タチアナ・野村

初級課程で得た知識を土台に更にロシア語独特な生の言いまわしや、日常会話の平均的速度になれてもらい、自由な発話への第一歩となる様に心がけていきたい。

〔教科書〕 教場にて指示。

### 英 語 (海外演習)

この授業科目は、ハワイ大学・カリフォルニア大学における短期留学サマーセミナーでの4週間・60時間に及ぶ現地演習を中心として行われる、英語随意科目である。

受講対象学生は、1年次生から卒業年次生までとし、6月上旬から7月上旬にかけての事前指導・事前講習、7月中旬から8月中旬にかけての現地演習、9月下旬のテストを通じて単位(2単位)が認定される。

受講希望者は、5月上旬に実施される説明会に参加し、5月中旬に所定の手続に従って申込まれたい。受講の可否は、5月下旬に決定される。

# 基礎教育科目

## 経済学概説

滝田 公一

経済学の入門的講義を行います。講義内容は以下のとおりです。

1. 家計の行動
2. 企業の行動
3. 寡占と独占
4. 市場の分析
5. 経済厚生と市場
6. 国民所得の概念
7. IS-LM分析
8. 失業とインフレーション
9. 財政・金融政策と合理的期待形成
10. 国際経済の理論

〔教科書〕 福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』  
(日本経済新聞社) 昭和61年

## 経営学概説

宮城 徹

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、わが国の経営学はその誕生から、上記の双方の経営学の圧倒的な支配的影響を受けて、研究・教育普及の一翼をになっ  
て発展し、今日にいたっている。

ありていにいえば、わが国の経営学は、アメリカとドイツにおける経営学の諸潮流を見定めつつ、そのなかで自らを形成し、今日の大をなしたのである。

よって、この講座では、(1)経営経済学の系譜、(2)経営管理論の系譜、(3)日本経営学の系譜、を中心に講義を進めるつもりである。

〔教科書〕 鈴木英寿編『経営学の国際的系譜』(成文堂) 昭和59年 ¥2,900

# 専門教育科目

## 簿記学

長松秀志

経営学部の必須科目であり、また会計学関係の科目を履修するための基礎科目であるので、初心者でも理解できるように講義する。

- 〔教科書〕 沼田嘉穂『簿記教科書』（同文館）  
沼田嘉穂『簿記教科書記帳練習帳』（同文館）  
〔参考書〕 学年始めに指示する。

## 簿記学

久松治夫

下記のテキストを使用し、複式簿記の基礎について講述する。内容は次の通り。

- 1 複式簿記の原理 2 取引の記帳 3 決算 4 商品の特殊売買取引 5 帳簿組織 6 本支店の簿記 7 株式会社  
の簿記 8 繰延資産と引当金  
〔教科書〕 中村 忠『現代簿記』（白桃書房）  
¥2,400  
〔参考書〕 開講時に指示する。

## 簿記学

片桐伸夫

簿記とは「帳簿記入」の略語であり、読んで理解する学科ではなく、文字どおり、記帳訓練によってその技術を体得する学科です。したがって、受講生は常にレポート提出が要求されることを前提として受講下さい。

- 〔教科書〕 沼田嘉穂『簿記教科書』（同文館）

## 簿記学

木下照嶽

この講義では、会計学および経営学系統の学習にとって欠くことのできない、簿記の基本的な原理を理解することに重点をおく。記帳練習、小テストおよび数的処理（計算力）が要求される。分り易く講義することを第1の目的としているが、学生諸君が全出席を念頭に真面目

に勉強してほしい。計算機を毎時間持参すること。

- 〔教科書〕 東京簿記教育協会編『簿記テキスト』  
東京簿記教育協会編『簿記問題集』

## 簿記学

東海幹夫

企業会計システムからアウトプットされるデータの理解と適切な運用なくして、企業を合理的に経営していくことは不可能である。複式簿記のシステムは、企業の外部および内部からの要請に基づいて考案された社会的制度的な計算技術である。

本講座は、この複式簿記の基本原則を習得してもらうためである。講義は、一回一回の積み重ねによって総合的な理解を得てもらうように進められるから、学年末にまとめて勉強することは出来ない。必ず出席してその場でマスターして欲しい。

- 〔教科書〕 青山学院大学会計学研究室編『簿記練習帳』

## 簿記学

高木克己

企業会計において、簿記は経営活動の結果を帳簿に記録し、その事業の成果を明らかにするための会計技術的な側面を有している。そこで、簿記の基本的概念や簿記一巡の手続から、より高度な応用段階までを体系的に講義を行う。また、講義全般を通じて、より多くの問題を白らの手で解く機会を設けるため、記帳演習や小テストには力点を置く。なお、テキストは開講時に指示する。

## プロゼミ I (経営コース)

渡辺行男

現代資本主義における企業問題を現代企業入門としてとりあげる予定です。

- 〔教科書〕 開講時に指示する。



## プロゼミ I (会計コース)

中 平 榮 一

簿記会計の基礎問題についてとりあげ、これについて検討する予定である。また、多くの演習問題も準備する。

## プロゼミ I (経済コース)

池 田 健

国際金融問題について主として時事的に分析する。

## 経 営 学

北 村 健之助

産業経営や商業経営の特徴を明らかにし、これら経営に共通する諸問題を取り上げ、皆さんの今後の専門科目の学習に少しでも役立つようにお話しを進めてまいりたいと考えております。

〔教科書〕 藤芳誠一編著『図説経済学体系10 経営学』(学文社)

## 会 計 学

渡 辺 恵一郎

1年次の「簿記学」を基礎に、企業経営を計数的(貨幣的)に表現することの意味内容、方法などを考えさせる。具体的には、会計の基本的諸概念やわが国の会計制度に関する知識を修得して、企業活動の会計記録から財務諸表の作成に至る過程を理解できるように講義する。

〔教科書〕 染谷恭次郎『会計学』(改訂版)(中央経済社) ¥2,200

〔参考書〕 『体系会計諸則集』(白桃書房) ¥2,000

## 経 営 史

前 田 和 利

経営史は「企業経営とは何か」について史的に答えていくことに研究の意義がある。講義では、経営史学の課題と方法を検討し、そのうえにたつて事例研究をふまえて、企業経営の一般的発達史を論ずる。その際、経済過程や文化構造と関連させながら、企業経営者のタイプ、

経営形態、企業形態、組織と管理などの問題に焦点をあてる。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

## 経 営 管 理 論

鈴 木 幸 毅

テイラーの「科学的管理」とその現代的展開を説明して伝統的管理論の構造と特質を明らかにし、「人間関係論」から「行動科学的管理論」への発展を跡づけさらに「近代管理論」をとりあげてその機能と本質を追求する。

〔教科書〕 鈴木幸毅著『現代組織理論』

(税務経理協会) ¥2,900

〔参考書〕 鈴木幸毅著『バーナード理論批判』

(中央経済社) ¥2,000

## 企 業 形 態 論

渡 辺 行 男

講義すべき主要な問題は以下のとおり。

### ① 企業形態の史的分析(とくに、2と3)

1. 重商主義段階

2. 自由主義段階

3. 帝国主義段階

### ② 現代資本主義における企業形態

1. 現代株式会社(持株会社・コンツェルンなど)

2. 現代公企業(公社・国家持株会社・国家コンツェルン、公企業の民営化など)

3. その他の問題(生協・中小企業協同組合)

〔教科書・参考書〕 開講時に指示する。

## プ ロ グ ラ ミ ン グ 論

清 水 忠 良

1) BASICプログラミング

2) 実習(重視いたします。)

3) 情報処理システム

〔教科書〕 戸川準人『PC-9801・BASIC』

(サイエンス社)

## 原 価 計 算 論

近 藤 禎 夫

1987年度においては、下掲のテキストにより以下に示す内容を講義する。

1. 資本制的原価計算の役割とその考え方

2. 原価計算の概要
3. 原価の費目別計算
4. 原価の部門別計算
5. 個別原価計算の方法
6. 総合原価計算の方法
7. 標準原価計算
8. 経営計画と原価計算
9. 社会主義の原価計算方法
10. 原価計算の歴史

〔教科書〕 沼田嘉穂著『原価計算・工業簿記教科書』  
(同文館)

〔参考書〕 敷田礼二・近藤楨夫著『原価公開』  
(新日本出版社)

## 経済原論

中村雄次郎

現在、わたくしたちが生活している社会は、重商主義時代の社会とも自由主義時代の社会とも著しく趣をことにしています。しかし、いずれにしても資本主義社会であることに変わりありません。経済原論は、このような資本主義社会が、どのような機構をもち、どのような法則にしたがって動いているのか、ということを明らかにするものです。講義では下記の教科書を用います。参考書や参考文献は、講義の際に紹介します。

〔教科書〕 岡崎次郎『経済原論』(法政大学出版局)

## 日本経済史

北島万次

前期は室町時代後期から江戸幕府成立期までの社会・経済史を扱う。

後期は幕末・維新期の社会・経済史を扱う。

〔教科書〕 北島万次他著『日本経済史』  
(有斐閣新書)

## 統計原論

後藤儀一郎

統計学は経営学や経済学は言うにおよばず、医学、社会学、自然科学などの各方面で広く用いられている。およそ実証研究しようとするとき、統計学の知識なしにできる場合というものは少ない。

統計学とは何か、統計学的考え方をどのようなものかについて、学習する。

〔教科書〕 吉野・後藤『現代統計解析』(芦書房)  
¥ 2,700

## 民法 I

山崎敏彦

われわれの日常生活を規律する民法のうち、総則・物権法を扱う。その際、できるだけ多くの裁判例を示すことによって、よりよく理解していただけるよう努めたい。

聴講にあたっては、教科書のほか、小型のものでよいから「六法」を持参されたい。

〔教科書〕 我妻=有泉『民法1』(一粒社)

## プロゼミ II (経営コース)

石名坂邦昭

前期においては経営学の基礎について講義を行なう。後期は各自のテーマを定め、報告形式で授業を進める。

〔教科書・参考書〕 開講時に紹介する。

## プロゼミ II (経営コース)

北村健之助

下の書物を読みながら、経営学におけるそれぞれの問題領域についてじっくりと検討し、考えてまいりたいと思います。

〔教科書〕 藤芳誠一編著『図説経済学体系10 経営学』(学文社)

## プロゼミ II (経営コース)

鈴木幸毅

現代経営学の各領域について問題点と課題を明らかにしながら理論的に検討する。

〔教科書〕 長谷川廣・松本正徳編『現代経営理論』  
(中央経済社) ¥ 5,500

## プロゼミ II (経営コース)

前田和利

テキスト(未定)を読みながら討論し、広い視野から企業経営を史的に学ぶ眼を養っていききたい。

## プロゼミⅡ（会計コース）

近藤 禎 夫

経営・会計上の理論的ならびに現実的諸問題をミーティングの都度とりあげ、これらの学習を通じて社会科学とは何であるのか、またそれはどのように学ぶべきかという基本的命題にアプローチする。なお「プロゼミⅡ」の場合、3年次以降の「演習」に準じた運営方式をとり、学習の水準もまた同程度である。したがって研究意欲ないし積極的な学問への取り組みが必要である。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## プロゼミⅡ（経済コース）

永田 智 則

追い上げ、貿易摩擦、円高問題等々、日本経済をとりまく国際環境は話題に事欠かない。本プロゼミでは、このような諸問題を考究するうえで必要となる基礎的な分析道具の習得を目指し、3、4年次の演習にスムーズに移行できるように努めます。

受講希望者は、演習を3年間継続するつもりで参加して下さい。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 商 法 I

荒木 正 孝

本講義は商法総則および会社法を対象として行うが、とくに現代資本主義社会において我々の経済生活に大きな影響を与えている株式会社制度について、その生成、機能、構造等その私法的側面を規制する株式会社法に重点を置き、判例その他の具体例を挙げて解説したい。

〔教科書〕 荒木正孝『商法講義（総則・会社法）』（成文堂）

## アメリカ経営学

宮 城 徹

経営学がすこぶる間口の広い学問であることは否定しえない。こうして、アメリカ経営学における教科編成という観点からみれば、そこには多様な領域がカバーされるのでなくてはならない。この講座では、こうしたいわば多面的特徴をもつ、アメリカ経営学のほぼ全体的な姿を明らかにする、という趣旨で、最も先端的展開としてのプロパティ・ライツ理論に重きを置きつつ、かんたんに表現すれば、少なくとも、以下の項目を順次とりあげ講義を進めるつもりである。

(1)制度・新制度学派 (2)伝統的管理論 (3)意思決定理論 (4)企業の性格 (5)企業の経済的側面と組織的側面の統合化への傾向 (6)情報コスト (7)取引費用その他  
〔参考書〕 宮城 徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）¥3,200

## 経 営 財 務 論

高 田 光 明

財務とは資本の調達と運用をいう。企業における財務の問題は、労務とともに、企業経営上重要な事からである。企業の財務を研究対象とする経営財務論は、所要資本の調達問題から、調達資本の運用問題へと研究の重点が移ってきている。この授業では、経営財務論の以上のような現状を考慮しつつ、基礎的な事からを中心に、理解を深めるために適宜事例も取り入れて講義するつもりである。基本的参考書等は授業の始めに指示する。

## 経 営 労 務 論

安 藤 喜 久 雄

次の諸点を中心に講義を進めていく。

1. 労務管理の主要な学説、理論
2. 労務管理の発展
3. 労務管理の体系
4. 雇用管理
5. 教育訓練
6. 賃金・退職金
7. 労働時間・休日・休暇
8. 福利厚生
9. 労使関係

## 経 営 技 術 論

小 野 寺 孝 一

経営技術論は、経営技術のもつ経済社会的本質を論ずるものである。これによって何をうるのかということ、経営技術の、経済社会での適用の問題を客観的に理解することにより、問題に処することができることである。私は過去におこなわれた、技術論論争と個別資本説の、論争の跡をたどり、批判し、その言わんとするところを論究してゆくことにより、これをおこなう。

〔教科書〕 『経営技術論』（白桃書房）

〔参考書〕 『経営学：方法論考』（白桃書房）

## 経営情報論

加藤 武信

経営管理におけるMIS（経営情報システム）の特質、構造および機能について、理論と技術の両側面から考察する。すなわち、①MISの基礎、②MISの理論と技法、③MISの役割、のそれぞれに関する内容、特徴および問題点を明らかにする。

現在、ME（マイクロエレクトロニクス）による技術革新が急テンポで進行し、その基盤に支えられた高度な情報化社会が到来しつつある。OA（オフィスオートメーション）の進展や第5世代コンピュータの開発計画により、企業における情報システムの構築内容がどのように変化するか、現時点で我々はどうのような対策を講じるべきか等について検討を試みる。

〔教科書〕 長松秀志『経営情報システム』（白桃書房）¥2,900

〔参考書〕 山本純一『経営情報論』（丸善）  
米花 稔『日本経営機械化史』（日本経営出版会）

## 経営科学

日下 泰夫

科学的、定量的な問題解決を指向する経営科学の役割は、コンピュータの進歩・普及に支えられて益々重要となりつつある。本講義では、経営科学の基本的な考え方や方法を平易に紹介し、さらに、これらがコンピュータによって具体的にどの様に展開されるかを理解するための「パソコンによる実習」を行う。

1. 経営科学の概念 2. 経営科学におけるモデルの役割 3. オペレーションズ・リサーチ 4. 経済性分析 5. 経営と情報 6. 経営科学の展望

〔参考書〕 開講時に紹介する。

## 公益企業論

石井 彰次郎

1. 公益企業概念の成立
2. 公益企業の先駆形態
3. 競争と独占
4. 政府の規制
5. 公共企業体

以上のテーマの下、理論的・歴史的観点より説明を行う。

〔教科書〕 『公益企業の研究』（白桃書房）

## マーケティング論

武田 康

現代マーケティング論は経営システム論をベースとしてアメリカにおいて体系化された戦略経営論である。講義ではそれが発達を遂げた背景のアメリカの経済社会環境との関連において理論的体系を明らかにしてゆくこととする。

〔教科書〕 武田 康『整合戦略の経営』（創成社）  
¥3,200

## 商業経営論

森宮 勝子

商業経営論とは、生産者と最終消費者との中間にあって、商品もしくはサービスを購入・販売することを業とする中間業者（卸売業者・小売業者）の活動をその研究対象とする。低経済成長下の今日、商業経営も減量経営を余儀なくされており、新たな対応が求められている。又、所得水準の高度化にともなう消費欲求の多様化により消費者の的確な把握は、ますます難しくなりつつある。このような環境下において、商業経営は、いかに行われるべきかを小売業を中心に立地分析、店舗管理、商品政策、仕入政策、商品管理、販売管理等の諸領域より検討する。

〔教科書〕 宇野政雄『新小売マーケティング』（実教出版）¥2,100

〔参考書〕 梅沢昌太郎『小売経営戦略』（同友館）  
¥2,300

## 保険経営論

石名坂 邦昭

今日、日本経済は世界的な景気の停滞と貿易摩擦の激化から輸出の減少傾向となり、一方国内の個人消費、住宅投資、設備投資が伸び悩むなど景気回復に暗い材料が多い。こうした中において高齢化問題など企業が克服しなければならないリスクが山積されている。そこで本講義においてはいかに各企業が企業危険に対処したらよいかといった観点から、リスク・マネジメントおよび保険を科学的にかつ実際的問題を取りあげながら行う。

〔教科書〕 石名坂邦昭『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）¥2,500

## 銀行経営論

近 沢 敏 里

銀行の経営は金融自由化の進行によって大きな影響を受けており、これまで金融当局の規制下に画一的な行動をとってきた各金融機関は、自ら経営の責任を負わなければならない。

本講義においては、銀行経営に関する基本的な事項を中心に講究するとともに、急速に動きつつある金融の自由化、短期金融市場の発展と多様化、国際化など、新しい情勢をできるだけ紹介して行きたい。

〔教科書〕 川口・三木谷編『銀行論』（有斐閣）

¥ 1,900

## 貿易経営論

武 田 康

外国貿易が直接投資による多国籍化経営に発展している現実に対応して外国貿易、直接投資に関する諸問題の理論的側面を探究するとともに、日米両国の外国貿易と直接投資による現地生産の類型を歴史的視点から比較し総合商社をはじめ日本型国際経営の特質を講義することとする。

〔教科書〕 武田 康『国際経営の基礎的諸問題』

（白桃書房）

## 日本経営史

齋 藤 憲

新興財閥を中心に講義を進める。財閥と言うと一般には三井、三菱、住友等を中心に考えがちであるが、昭和戦前期、重化学工業化の進展の中で、これら既存の財閥に対抗して成長した企業集団があった。日産、日窒、森日曹、理研がそれで、新興財閥と呼ばれる。これら諸集団は、著しい発展の後戦争経済の中で瓦解していくが、その革新に満ちた経営は戦後経営の先取りであった。新興財閥の先進性と限界を窺うことによって、明治以降の日本経営史の流れを考えてみたい。特に本年度は、理研を中心に講義を進めたい。

〔教科書〕 拙稿『新興コンツェルン理研の研究』  
（時潮社）

〔参考書〕 多数あるので、その都度指示する。

## 経営統計

後 藤 儀一郎

統計学、特に推測統計学の知識は経営学あるいは経済学の分野においても広く用いられている。統計学はもはや資料の収集とそれを表や図で表わすだけのものではない。不確実性と危険を含むあらゆる状況を理論的かつ組織的な方法で考察する。推測統計学の理論を学びながらそれらが実際においてどのように応用（例えば統計的品質管理、実験計画、線形計画等）されるかを、学習する。

〔参考書〕 吉野・後藤『現代統計解析』（芦書房）

¥ 2,700

## 上級簿記

渡 辺 恵一郎

1年次の「簿記学」を基礎に、その応用能力を養い、簿記の理論を、問題解答、解説により展開する。各種の簿記検定試験や国家試験（公認会計士、税理士など）に挑戦する意欲のある人々が受講するように希望する。なお、授業時間には、指名、割当制により問題解答をしてもらう。

〔教科書〕 開講の時に指示する。

〔参考書〕 『体系会計諸則集』（白桃書房）

¥ 2,000

## 財務会計論

久 松 治 夫

わが国の財務会計を規制する三つの基本規定一「企業会計原則」「財務諸表規則」「商法計算書類規則」を相互に関連づけて、その基本原理と構造について講義を進める予定である。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示する。

## 管理会計論

長 松 秀 志

現代管理会計の論拠、本質、対象、方法、発展過程、計算構造、現実的役割および実践的問題について体系的に説明する。とくに現代管理会計の中心課題である意思決定会計と会計情報の関係を中心に講義する。

〔教科書〕 長松秀志『現代管理会計』（税務経理協会）¥ 2,900

〔参考書〕 学年始めに指示する。

## 経営分析論

片桐伸夫

経営分析の方法を大略、以下の要領で講義する予定ですが、特に伝統的、基本的方法である収益性、流動性の分析にポイントを置きます。

1. 収益性分析
2. 流動性分析
3. 生産性分析
4. 成長性分析

〔教科書〕 開講の時指示します。

## 税務会計論

高木克己

我々が社会生活を送って行く上で、一生逃れることが出来ないものに税の問題がある。その中で特に重要な位置を占めている法人税法を中心に講義を行う。法人税法の中心課題である課税所得計算の構造を明らかにし、企業会計と税務会計の考え方や処理の違いを、広範な事例を解説しながら講義を進めて行くが、随時、我々個人の日常的問題である所得税法についてもふれていくことにする。なお、テキスト、参考書は開講時に指示する。

## 会計監査論

中平榮一

主として、独立監査人による財務諸表監査の問題をとりあげて、詳しく講述する。なお、当然、監査役監査及び内部監査の基本的問題についても論及する。

## 証券市場論

柿崎暎次

下記により証券市場の構造分析、現状分析を行う。

1. 株式・債券の発生
2. 国民経済と証券市場
3. 証券市場の歩み
4. 株式市場
5. 公社債市場
6. 証券取引所
7. 証券会社
8. 投資信託
9. 証券金融

〔教科書〕 『日本の証券市場』(62年度)(財経詳報社)

〔参考書〕 上林正矩『証券市場論』(上・下)(千倉書房)

## 商業史

山田勝

現代商業の生成過程を、貿易を中心に講義する。特に商人(社)を中心にすえ、現代商業との関連に留意しつつ行う。対象とする時代は欧米については16世紀以降、日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 山田勝『近代イギリス貿易経営史』

〔増補版〕(創成社) ¥2,300

## 経済政策

西山司

本年度の経済政策の講義は、経済政策の理論および経済政策の史的展開過程の解明を中心に、各国で実施されている現代の経済政策についても論述する予定である。

特に「価値判断」論争をめぐっての諸問題点や、従来の経済政策論の主要な学説を検討するとともに、経済学体系における経済政策論の理論的位置を論究し、その果すべき課題を究明して、経済政策論の体系的な解明をおこなうように努める。

〔教科書〕 清水・松原 編『経済政策論を学ぶ』

〔新版〕(有斐閣)

## 財政学

速水昇

現代の政府は経済に大きな役割を果たしている。つまり政府の財政運営のありかたが経済に大きな影響をあたえている。だが最近の財政の状況は国債の累積増加にともななって難しい局面になっている。そこで私の講義では、政府が経済にどのような影響を与えているのか、近年どのような問題が生じているのかについて検討していく。

〔教科書〕 藤原・速水他著『政府の経済学』(学文社)

## 金融論

石野典

金融論は、資金の貸借ないし資金の流れをマクロ的な視点から考察される。昔はMoney and bankingと呼ばれ、貨幣や銀行を中心に展開されていたが、今日の金融現象は、さらに広く証券業を含めて考察されねばならない。したがって、利子を中心とした広義の金融現象を理解されるように、主として構造論的な視点で展開したい。だからミクロの立場から金融資産の選択については除かれる。

なお、最近の金融現象の変化は激しいので、それに對

する見方も示してゆきたい。講義はノート形式で、テストは1回だが、年に一度、金融に関する読書感想文の提出を求める。

〔参考書〕 原 司郎編『テキストブック金融論』  
(有斐閣) ¥2,000

## 国際経済論

永田智則

個々の経済主体が国境を越えておこなう経済活動は、国際経済における固有の相互依存と相互対立を生みだし、さまざまな国際経済現象をひきおこす。本講義ではこれら国際経済現象の解明の手がかりの習得を目的として、国際経済の基礎理論を簡潔かつ平明に提示する。

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 国際金融論

池田 健

拙著国際金融論により国際金融の理論を講じ、なお必要により時事問題を解説する。

〔教科書〕 池田 健『国際金融論』

## 日本経済論

羽 鳥 茂

戦後日本経済の歩みとマクロ経済政策の運営を、現代マクロ経済学の視点から講義したい。参考書を随時参照しながらマクロ経済学の基礎概念を復習すれば、講義内容の理解は一層容易になると思う。

〔教科書〕 黒坂佳央・浜田宏一『マクロ経済学と日本経済』(日本評論社) ¥2,800

〔参考書〕 中谷 巖『入門マクロ経済学』(日本評論社) ¥3,300

## 民法 II

上 井 長 久

民法は、われわれ市民の日常の衣食住などの財産、および親子・夫婦などの身分をめぐる社会生活関係を規律の対象とする法律であるといえる。本講では、主として、財産関係のうちで人に対する請求権すなわち債権を中心に扱い、まず、債権法全体の体系および概略を説明し、つぎに、条文に即して債権法総論、債権法各論——売買・賃貸借などの契約、事務管理、不当利得、不法行為な

ど——の順に、それらに含まれる制度・原理の意義、機能、背景などを重点的に解明してゆく。

〔教科書・参考書〕 開講のときに掲げる。

## 外書講読(英)

滝 田 公 一

本書は産業組織論の定評ある教科書です。産業組織論は、産業構造にかかわる問題、すなわち、産業構造の決定要因は何か、完全競争市場や独占、寡占の経済的なパフォーマンスはどのようなものか、技術革新は産業構造にどのような影響を与えるか、などについての分析・研究です。したがって、産業組織論はミクロ経済学の実用という側面を持っています。

〔教科書〕 Scherer, F. M. "Industrial market structure and economic Performance" Houghton Mifflin 1980.

## 外書講読(英)

平 山 健 二

経営コース(会計でなく)の講読をしますが、テキストは初回の授業で決めます。

## 外書講読(英)

木 下 照 嶽

現代は企業活動の国際化時代の真直中にある。したがって、企業活動の会計・経営に関する、調査・取引・記録報告・データ分析・意思決定といった資料は、英語を中心とした外国語化する時代にある。将来の企業人は、こうした諸種のデータを、理解し、作成し、利用し、分析する能力が必須となる。こうした観点から、会計・経営データが形成される背後の理論、すなわち、転換期の企業活動に関する財務会計を中心に、インフレーション、発展途上国、多国籍企業、企業の社会的責任に関する会計データ等の文献を、広い視野に立って渉猟して、語学力の向上とこうした問題への関心を深めたいと考えている。

毎時間プリントを用意する予定である。

外 書 講 読 (独)

百 濟 勇

1970年代以降の世界経済の発展において、国際的に新しい現象の一つは、日本経済の世界に占めるポテンシャルの急速な増大である。こうしたことが、アメリカ合衆国や西ヨーロッパ諸国での「日本的経営」に関する議論の高まりの背景をなしている。彼らの日本経済にたいする問題提起や研究方法などを知ることは、同時に国際的に経済管理システムを比較することでもある。「日本的経営」に関してドイツ語による確かな表現の訓練も含めて、日本経済の海外直接投資の動向をもフォローする予定。テキストはプリント(コピー)で配布する。

〔教科書〕 I. Momozumi, "Zur Entwicklung des Managements des japanischen Monopolkapitalismus", Hochschule für Ökonomie zu Berlin, 1985

外 書 講 読 (仏)

中 村 雄次郎

1. 受講者がこれまでに習得してきた学力にあわせてテキストをえらび、講読をすすめてほしいと思います。
2. (a)講読にあたり、フランスの経済や経済学を学ぶことはいうまでもありませんが、そのためには経済のみならず、広く文化現象をも取り上げる必要があります。

(b)最近、日本に対する諸外国の関心が、ただ単に経済のみならず、諸々の文化についても高まっているように思われます。わたくしたちは自国の経済や文化を学びなおし、これを正しく伝える必要があります。

(c)フランス側からも日本経済の研究がなされ、その成果が発表されています。

さし当り、(c)の検討より始め、(a)の必要をみだし、できれば(b)まで進みたいものです。

外 書 講 読 (中)

松 本 丁 俊

近隣の中国は広大な国土と人口をかかえ、長い歴史、伝統と高度な文化を有する社会主義国家である。現代中国の正しい認識を知る為の論文を読み合せながら、授業を進める。

〔教科書〕 プリント使用。

外 書 講 読 (ス)

佐 藤 玖美子

スペイン最大の発行部数を誇るEI pais紙の、特に経済、社会面の講読を行う。学生諸君が1, 2年で習得したスペイン語の知識の深化、発展をはかると共に、念願のEC加盟を実現したスペインの現代の情勢を把握することを旨とする。

〔教科書〕 プリント

商 法 II

島 原 宏 明

現代取引社会における金融の用具としてきわめて重要な地位にある手形および小切手について、その法理論的な構造をあきらかにするとともに、手形・小切手をめぐる実際上のトラブルとそれに対する法的解釈を、判例等を参照しながら考察していく。なお、受講の際には、必ず六法全書(小さなものでよいがなるべく新しいもの)を携行すること。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示する。

労 働 法

浜 村 彰

我が国の労働法は、労働者の経済的社会的地位の維持向上をはかるために、労働基準法によって労働条件の最低基準を定めると同時に、労働組合法によって団結権を保障することにより労働組合を通じた労働条件の対等決定を助成、実現しようとしている。本年度においては前期に労働基準法をめぐる主要問題を立法改正論にひきつけながら講義し、後期には労働組合法を中心に集団的労使関係をめぐる法的諸問題を講義して行きたいと考えている。

〔教科書〕 開講時に指示する。

〔参考書〕 ジュリスト増刊『労働法の争点』



## 教職および資格講座

教 職 課 程  
学校図書館司書教諭講座  
博物館学講座  
社会福祉主事講座  
社会教育主事講座

※ 上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりである。（履修についての詳細は「教職課程・資格講座の履修要項」を参照）

課程・講座名	資格取得学部
教 職 課 程	全学部
学校図書館司書教諭講座	全学部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座	全学部（59年度入学生より適用）
社会教育主事講座	全学部（62年度より仏教学部も適用）



# 目 次

教育原理(磯野 昌蔵)……………	1	民法 I (山崎 敏彦)……………	7
教育原理(上岡 安彦)……………	1	哲学特講 I (東洋) (篠原 壽雄)……………	7
教育原理(北村 三子)……………	1	哲学特講 II (西洋) (國嶋 一則)……………	7
教育原理(坂本 信昭)……………	1	宗教学特講 I (松田 文雄)……………	8
教育原理(村山 輝吉)……………	1	宗教学特講 II (脇本 平也)……………	8
青年心理学(大浜 幾久子)……………	1	宗教学特講 III (洗 建)……………	8
青年心理学(岸本 弘)……………	1	教育史(磯野 昌蔵)……………	8
青年心理学(牟田 悦子)……………	2	宗教教育(櫻井 秀雄)……………	8
青年心理学(渡辺 三和子)……………	2	教育関係法規(船木 正文)……………	8
教育心理学(大浜 幾久子)……………	2	教育評価(大浜 幾久子)……………	8
教育心理学(改田 明子)……………	2	生活指導(秋山 達子)……………	8
教育心理学(国眼 眞理子)……………	2	教育哲学(汐見 稔幸)……………	9
教育心理学(中村 均)……………	2	教育調査(前川 真一)……………	9
教育心理学(渡辺 三和子)……………	2	教育学特講(熊谷 一乗)……………	9
道德教育の研究(上岡 安彦)……………	2	教育情報学(難波 和明)……………	9
教育実習(上岡 安彦)……………	2	図書館学 I (山崎 慶子)……………	9
教育実習(北村 三子)……………	3	図書館学 II (源 昌久)……………	9
教育実習(坂本 信昭)……………	3	博物館学 I (倉田 芳郎)……………	10
教育実習(村山 輝吉)……………	3	博物館学 II (熊野 正也)……………	10
国語科教育法(神谷 道倫)……………	3	博物館実習 I (館務)(倉田芳郎・太田喜美子) ……	10
書道科教育法(谷村 義雄)……………	3	博物館実習 II (収集)(倉田芳郎・所理喜夫・ 葉貫磨哉・太田喜美子) ……	10
宗教科教育法(松本 皓一)……………	3	博物館実習 III (見学)(倉田芳郎・飯島武次) ……	10
英語科教育法(大沢 一雄)……………	4	視聴覚教育(赤堀 正直)……………	10
社会科教育法(地理) (川合 元彦)……………	4	日本文化史 I (有元 修一)……………	10
社会科教育法(地理) (中島 義一)……………	4	印度仏教文化史(奈良 康明)……………	10
社会科教育法(歴史) (野呂 肖生)……………	4	西洋文化史 III (三小田 敏雄)……………	11
社会科教育法(岡田 真)……………	4	仏教美術(林 良一)……………	11
社会科教育法(谷敷 正光)……………	4	現代美術(宮崎 克己)……………	11
社会科教育法(大久保 治男)……………	5	禅美術(海老根 聰郎)……………	11
職業科教育法(前田 穂)……………	5	美術史概説(林 良一)……………	11
商業科教育法(谷敷 正光)……………	5	西域美術史(林 良一)……………	11
商業実習(前田 幸一)……………	5	考古学概説 I (日本)(倉田 芳郎)……………	11
職業指導(山田 勇治)……………	5	考古学概説 II (外国)(飯島 武次)……………	11
産業概説(前田 幸一)……………	6	考古学特講 II (高浜 秀)……………	11
世界史概説(中村 道雄)……………	6	考古学特講 IV (飯島 武次)……………	12
世界史概説(渡辺 惇)……………	6	日本民俗学(山折 哲雄)……………	12
日本史概説(芥川 龍男)……………	6	仏教民俗学(和田 謙寿)……………	12
日本史概説(波田野 富信)……………	6	宗教人類学(佐々木 宏幹)……………	12
地誌学概説(今朝洞 重美)……………	6	考古発掘実習(寺社下 博)……………	12
地誌学概説(長野 覚)……………	6	社会福祉概論(東條 光雅)……………	12
地誌学概説(渡邊 盾夫)……………	6	障害福祉論(原田 信一)……………	12
自然地理学概説(早船 元峰)……………	6	社会福祉実習(東條 光雅)……………	12
人文地理学概説(小林 高寿)……………	7	社会福祉法制(小林 弘人)……………	13
社会学原論(渡辺 源樹)……………	7	公的扶助論(近藤 功)……………	13
経済原論(小野 俊夫)……………	7	児童福祉論(原田 信一)……………	13
政治学原論(上條 末夫)……………	7	老人福祉論(東條 光雅)……………	13
政治学原論(福岡 政行)……………	7		

社会保障概論（近藤 功）	13
地域福祉論（永田 幹夫）	14
ケースワーク論（高橋 重宏）	14
グループワーク論（松本 栄二）	14
社会福祉事業発達史（林 千代）	14
母子福祉論（林 千代）	14
医療社会事業論（松本 栄二）	14
社会福祉方法総論（高橋 重宏）	14
社会福祉管理運営論（重田 信一）	15
リハビリテーション論（原田 信一）	15
社会教育概論（磯野 昌蔵）	15
社会教育方法論（村山 輝吉）	15
社会教育行政財政（長澤 成次）	15
教育社会学（熊谷 一乗）	15
社会心理学（坪井 健）	16
社会教育施設（村山 輝吉）	16
児童文化（富田 博之）	16
青少年問題研究（和田 謙寿）	16
青少年指導演習（和田 謙寿）	16
社会教育演習（上岡 安彦）	16
成人指導及青少年指導（長澤 成次）	17

## 教育原理

磯野昌蔵

教育とは何か  
中等教育の歴史と問題  
学校教育の役割

## 教育原理

上岡安彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次にそこで、でてくる問題について日本の現象を例として教育的に考察します。

そして最後に原典に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕 『エミール』〔上・中・下〕（岩波文庫）  
上 ¥550, 中 ¥500, 下 ¥500

〔参考書〕 周郷 博『教育学講義』（柏樹社）  
¥1,800

## 教育原理

北村三子

人間社会・人間文化の営み全体の中で教育のありようを問い直してゆくことを目指して、教育の制度・形態・内容・方法をめぐる諸問題や、それらを規定している社会的・歴史的諸問題を考察してゆく。

〔参考書〕 堀尾輝久・松原治郎・寺崎昌男編『教育の原理Ⅰ 人間と社会への問い』  
稲垣忠彦・柴田義松・吉田章宏編『教育の原理Ⅱ 教師の仕事』（東大出版会）  
1985年 I・IIとも ¥1,500  
ルソー『エミール』（岩波文庫）  
上 ¥550 中・下 ¥500

## 教育原理

坂本信昭

下記のテーマを「問題」としてとりあげ、ともに考えていきます。

1. いま教育のめざすもの
2. ひとの適応・成長・発達
3. 家庭の役割・地域の働き
4. 人格をはぐくむ
5. 学校への期待

6. よりよい授業に向けて
7. 学習をふかめる
8. 教師を育てる
9. 教育制度をみなおす
10. 障害児とともに
11. 内なる差別を考える
12. 学びへの出発

〔教科書〕 田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所） ¥1,800

〔参考書〕 教師養成研究会『教育原理』（学芸図書）  
¥950  
デューイ著、宮原誠一訳『学校と社会』（岩波文庫） ¥200

## 教育原理

村山輝吉

主として下村湖人の著作などを手がかりとして、人間の発達と教育、文化、社会の関わりを軸とする「教育」の原理的考察をおこない、あわせて教育の制度、形態、内容、方法のもつ意味と問題を社会的歴史的な視座からアプローチしてみたい。

〔参考書〕 『下村湖人全集』（全10巻）（国土社）  
『教育の原理Ⅰ・Ⅱ』（東京出版会）

## 青年心理学

大浜幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について考察する。その上で青年期の様々な問題をとりあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を紹介、解説していく。また性格テストなどの実習も行う。

## 青年心理学

岸本 弘

内外の青年心理学の研究業績を提示し、わが国の青少年をめぐる発達環境のゆがみについて考察したい。

〔教科書〕 『青年心理学』（くろしお出版）  
¥2,300

〔参考書〕 『青少年期の特徴と教育』（明治図書）  
¥3,200

## 青年心理学

牟田悦子

人間の発達の中で青年期がどのような意味をもつかを考えながら、青年期の様々な特徴を見ていく。また、現在の学校教育の中で問題になっている様々な事象に対して、各自が考え、自分なりの判断力をもつこともこの授業のねらいとしたい。

## 青年心理学

渡辺三和子

大人でも子どもでもない中間的な存在の青年期は、人間の成長のなかで最も激動する時であり、それだけに中高生を理解するのは難しくまたおもしろい。前期はこの時期の特徴を概観する。後期はおもにこの時期の精神的な病理現象をとりあげ、そこから現代の中学校・高校教育のおかれている状況と問題点について考えていきたい。

〔参考書〕 笠原 嘉『青年期』（中公新書）

## 教育心理学

大浜幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場の様々な問題を取りあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また知能テストなどの実習も行う。

## 教育心理学

改田明子

教育心理学の基本的な問題について、理解し、学習する。また、必要に応じて、心理検査などを実際に行ない、学習の一助とする。

〔教科書〕 『教育心理学』（改訂版）（新曜社）  
¥1,500

〔参考書〕 講義中に、そのつど紹介する。

## 教育心理学

国眼眞理子

教育を学校教育に限定せずに、家庭、地域をも含めて考え、その中で子どもひとりひとりの個性を生かすには

心理学的にどのようなことを考慮する必要があるのかを考える。又、実際の教育現場で遭遇する青年期特有の病理現象や対人関係のあり方に関する理解を深める。

〔教科書〕 『入門教育心理学』（有斐閣双書）

¥750

## 教育心理学

申村均

1. 発達  
子どもはどのように大人になるか。子どもは大人とどう違うか。
2. 学習  
どのような仕組で学習は起こるのか。学習を促進させるにはどうしたらよいのか。
3. 知能・学力・創造性
4. 人格  
一人一人の違いはどうとらえればよいのか。
5. 学級集団  
学級集団はどのような役割を果たすのか。
6. 教育評価

## 教育心理学

渡辺三和子

学ぶことと成長すること、学習活動とは何か、生徒を理解する方法、さまざまな授業の型、集団としての学級、学習の評価等基本的な教育心理学の考え方を学ぶ。また教育の荒廃が語られる昨今、今日の学校教育の問題点を探り、教師としてめざすべき方向について考える。

〔参考書〕 北尾倫彦・速水敏彦『わかる授業の心理学』（有斐閣選書）

## 道徳教育の研究

上岡安彦

道徳教育の基礎理解と課題研究を行う。

〔教科書〕 『道徳教育の研究』（改訂版）（学芸図書） ¥750

## 教育実習

上岡安彦

事前指導

学校の教師としての仕事について講義  
学習指導案作成実習

## 訪問指導

実習期間の研究授業参加

## 事後指導

デューイの『学校と社会』によって自分の教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

- 〔教科書〕『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥250  
『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥300  
デューイ『学校と社会』（岩波文庫）  
¥300

## 教育実習

北村三子

教育実習前は、実習に際しての注意や心構えなどを中心とする事前指導を行ない、実習後は、現場での体験を相互に交換し、深め合いつつ、学校教育の諸問題や教師の課題などについて考え合う。

## 教育実習

坂本信昭

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し、教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、口頭報告、レポート作成・提出、グループ編成による授業（ディスカッション）を行い、教育への理解を深め、望ましい教師像について一緒に考えたいと思う。参考書は、下記以外にも授業で適宜紹介する。

- 〔参考書〕大村はま『教えるということ』（共文社）  
¥480  
『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥250  
『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥300  
田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥1,800

## 教育実習

村山輝吉

教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めるため、年間を通じて次の事項を取りあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはきんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

## 国語科教育法

神谷道倫

前期は中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、あるいは教材に即したそれぞれの指導方法等について講義、後期は実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方・指導事項・方法等主に模擬授業の形態で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

- 〔教科書〕『中学校・高等学校 国語科教育法（新編）』（桜楓社）¥1,200

## 書道科教育法

谷村義雄

文字を書くことは誰でもできることで決してむずかしいことではない。しかし、書は中国においては四千年の歴史があり、日本においても千数百年の歴史がある。この間にいろいろな書体が出来、そしていろいろな書法が生まれた。書の芸術は悠遠の歴史の中で開花したもので、現在もまた現在の書が生れつつある。書を単なる文字記号と考える浅薄な思考に対して、書のもつ思想性、民族性を十分に理解して、書とは何かを改めて問いたずら授業にしたいと思う。教育法はどう教えるかではなく、なにを教えるべきかを探求する内容にしたい。

- 〔参考書〕学習指導要領解説『芸術科』

## 宗教科教育法

松本皓一

宗教科教授法としての理論と実践上留意すべき諸問題を述べる。

- 〔教科書〕特に指定せず。但し、講義中に教材として指定することがある。

## 英語科教育法

大 沢 一 雄

多くの学者によって唱えられてきたいろいろな外国語教育法を検討し、わが国の英語教育において、どのような教授法を用いたらよいか、発音、語彙（い）、文法等の指導はどのようにしたらよいか、などを考える。講義は、ノートとプリントによっておこなう。

## 社会科教育法（地理）

川 合 元 彦

社会科教育発足の背景を明らかにし、学習指導要領（社会）の変遷、社会科教育についての論争、学習指導上の諸課題などを考察し、現在進められている学習指導要領（社会）の改訂についてもとりあげる。

また、指導案の具体的な作成も行なう。

〔参考書〕 川合元彦著『生活の場の見方・考え方—地理教育演習—』（古今書院）

## 社会科教育法（地理）

中 島 義 一

社会科（地理）教育の諸問題を講義し、後半は学生諸君に交代で壇上に立ってもらって授業演習を行う。下記教科書のほか、地図帳（高校用、中学用どちらでもよい）を忘れずに持ってくる。出席を重視する。遅刻や欠席の多い人は教師として不適格である。

〔教科書〕 山崎謙哉『新訂 地理教育の本質と実践』（古今書院）¥2,200

## 社会科教育法（歴史）

野 呂 肖 生

「中・高等学校の現場で社会科の授業をするさいに役立つように」を目標とし、社会科教育（とくに歴史）の理論と実践を学ぶ。とくに個性を重視したい。

## 社会科教育法

岡 田 真

社会科は暗記物？ そんな理解を否定する史料が、オリジナルで岡田研究室には山積している。現在でも、社会科の本質を踏まえた授業はある。その指導案の分析等

のなかで専門技術的向上をはかりたい。

あなたの専攻と社会科との関係には、1.教材内容、2.社会科学研究の、二側面がある。「社会科教育学」の動向を踏まえつつ、あなたの関連科学としての意味をもたせていこう。学会誌等で注目されるのは、近年、エコロジーが重視されてきたことである。その福祉技術の場合との対比も、余裕があれば、試みることにする。

〔教科書〕 岡田 真『「学習指導要領」と日本の福祉教育』（駒沢大学文学部研究紀要 No.40.各自図書館でコピーすること）  
日本社会科教育学会『中等社会科教育概論』（東洋館）¥1,000  
岡田 真『都市化日本の学歴社会』（大明堂）¥1,200  
日本社会科教育学会『公民的資質の形成』（東洋館）¥2,700

## 社会科教育法

谷 敷 正 光

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後日本資本主義発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。

したがって、しっかりと社会科教育を樹立するため、単なる教授方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみたい。その上で、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。年間の授業計画は次の通りである。

①戦後日本資本主義の発展と教育、②教育の基本概念、③日本資本主義の発展と社会科教育、④社会科教育の基本概念、⑤中学校・高等学校の教育課程と社会科、⑥社会科の学習指導、⑦学習指導案の作成、⑧中学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑨高等学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての社会科授業実践の研究、⑬社会科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。）

〔教科書〕 梶 哲夫『中等 社会科教育研究(1)』（高陵社）

遠山 啓『競争原理を超えて』（太郎次郎社）

〔参考書〕 矢川徳光『教育とは何か』（新日本出版新書）

無着成恭『山びこ学校』（角川文庫）

その他、若干のルポ、小説、社会科の教科書、中学校・高等学校学習指導要領も



使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

## 社会科教育法

大久保 治 男

現下山積する教育上の諸問題を意識しつつ、社会科の教科教育法のより効果的実践方法を探究する。学校教育における高校の「政治・経済」「現代社会」中学の「公民」など社会科系列の検定教科書や学習指導要領を分析しつつ社会科教育法の目標、構成、内容等について考究する。さらに具体的に指導計画、指導案、指導方法、教材研究、教育評価については、受講生をグループ別にし模擬教育実習を通じて実践させることで合目的教育方法を発見させるよう努める。OHP、スライド、8ミリ、ビデオ等視聴覚教育器機も使用しつつ一方的講義でなく受講生にも積極的に学習参加させ、将来の教師としての自覚や意欲を持たせ楽しい講義となるよう配慮する。

〔教科書〕 その都度指示する。

〔参考書〕 『学習指導要領』（中学・高校の社会）各自が使用した社会関係の教科書。

## 職業科教育法

前 田 穂

職業指導の意義及び技術に関する理解を深めるとともに、職業指導の運営管理の在り方の基礎的学識を培う。

〔教科書・参考書〕 授業において指示する。

## 商業科教育法

谷 敷 正 光

「職業教育」（産業教育）の一つである商業教育は、日本の資本主義をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。そして、高度成長期の高校教育の「多様化」政策の破綻にともなう、商業教育は大きく軌道修正されさらに、先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、再び修正されようとしている。従って、本講は「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するため、この「教科法」を商業教育の単なる技術論に終らせることなく、より基

本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論、職業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。年間の授業計画は次の通りである。

①日本資本主義発展と教育・職業教育、②教育の基本概念、③職業教育、商業教育の概念、④高等学校における商業教育の現状と課題、⑤高等学校の教育課程、⑥商業科の教育課程、⑦商業科の学習指導、⑧学習指導案の作成、⑨商業教科・科目の個別目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての商業科授業実践の研究、⑬商業科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用試験について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。）

〔教科書〕 田中義雄『商業科教育論』（多賀出版）  
矢川徳光『教育とは何か』（新日本新書）

〔参考書〕 竹内 宏『日本の学歴社会は変わる』（有斐閣）

田代三良『高校生』（岩波新書）  
神田 修『学校からみた教育政策』（有斐閣）

その他、商業の教科書、高等学校学習指導要領、新聞の切り抜き、雑誌、ルポ、小説なども使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

## 商業実習

前 田 幸 一

商品取引における事務手続きについて勉強をしていく。

〔教科書・参考書〕 講義の際指示する。

## 職業指導

山 田 勇 治

学校における進路指導とは、中学・高校の卒業時における就職や進学のみならず、個々の生徒の発達段階に応じて、その能力・適性等を伸ばし、生徒自ら望ましい進路を選択・決定させ、その後の職業生活において自己実現できるように指導し、援助する活動をいう。ところが現状では、学力などによる振り分けが横行し、本来あるべき進路指導には程遠い。

そこで、こういった学校進路指導の現状を文部省の実施した実態調査などによって明らかにしてみたい。

また、将来職業につくための準備教育、つまり職業教育についても講述する予定である。

〔教科書〕 山田勇治著『会計教育論』（創成社）  
¥1,300

〔参考書〕 近藤大生・有本 章編著『職業と教育—職業指導論—』（福村出版）¥1,500

## 産業概説

前田 幸一

日本の主要な諸産業を順次とりあげ、各産業についてその特性と歴史、現状と問題点を勉強していく。

〔参考書〕 宮沢健一・竹内 宏編『日本産業教室』（有斐閣）  
日本興業銀行産業調査部編『日本産業読本』（東洋経済新報社）

## 世界史概説

中村 道雄

主にヨーロッパおよびアメリカ世界の歴史を概説する。参考書にはこの外高校時代の世界史教科書も利用される。

〔教科書〕 衣笠・田村・中村・廣實『概説西洋史』（東京創元社）  
〔参考書〕 帝国書院編集部編『詳密世界史地図』（十二訂版）（帝国書院）

## 世界史概説

渡辺 惇

アジアの歴史を地域的に東アジア、東南アジア、南アジア（インド）、西アジア、内陸アジアに分け、それぞれの歴史的世界の風土、歴史展開の特色等について講義する。

〔教科書〕 特に定めず、プリント・資料を配布する。

## 日本史概説

芥川 龍男

中世に焦点をおいて講義する。講義の中で参考文献などを紹介するが、積極的に読破して欲しい。評価はレポートおよびテストなどを総合的に見て評価する。

教科書・参考書はとくに指定しない。開講時に詳細な注意事項を話します。

## 日本史概説

波田野 富信

時間数の関係から、日本史全般を各分野にわたって講ずることは不可能に近いから、日本の歴史の流れの中からそれぞれ重要事項をとりあげて理解してもらおう。従って各々がそれぞれに前もって予習をしてきて欲しい。

〔参考書〕 『新稿 日本史概論』（吉川弘文館）  
¥1,500

## 地誌学概説

今朝洞 重美

地誌学の本質論を説明しつつ、日本地誌と外国地誌を講義する。

## 地誌学概説

長野 覚

世界的視野において地理学の発達・概念を理解したのち、現代世界の地域特色を、自然環境やそれと関連性をもつ人文現象について考察する。

後期には幾つかの国を対象に、その国の地誌を学習する。受講にさいしては、できるだけ地図帳を併用してほしい。

〔教科書〕 藤岡謙二郎共著『世界地誌』（改訂版）（大明堂）

## 地誌学概説

渡邊 盾夫

読図の方法を理解したのちに、各国の地誌について日本地誌と比較しながら講義する。受講希望者は地図帳を持参して下さい。

## 自然地理学概説

早船 元峰

人間生活の舞台である大地の形成過程について講じ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意（10枚程度）させ、それらをもとに種々なる作業

(土地利用図・切峰面図・帯状平行投影地形断面図等を作成)をさせてより一層の理解を深めさせる。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意すること。

## 人文地理学概説

小林 高 寿

歴史学は時間の経過を追って、人間の作り出した社会構造と人間心理に迫ってゆくが、地理は空間の中に人文現象と、人間の認識される範囲の自然現象を追求し、説明する。人文地理学は従って常に歴史現象と歴史学とに交錯しつつ、人文現象に対する学的究明を深め、拡大しつつ、空間のもつ意味を固定的にでなく、究明しようとする。それ故にそこで扱われる素材は多様となる。

かくの如くして、本講においては、人文地理学の多様性をしっかりと受けとめ、将来の教職の現場にあって、応用のきく学問を勉強させようとする。

環境としての自然の基礎的理解、歴史学と地理学の交錯分野にまで、講義の内容が及ぶのは必然である。

〔教科書〕 西川 治『人文地理学入門』（東大出版会）¥2,800

〔参考書〕 高校用地図帳（アトラス）と二宮書店地理統計。

## 社会学原論

渡 辺 源 樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

## 経済原論

小 野 俊 夫

いわゆる近代経済学の立場から、近年の学問的成果をも考慮し、現代経済学の基本を解説し、複雑な現代経済を理解しうる力を養うことを目指す。

〔教科書〕 開講の際に指示する。

## 政治学原論

上 條 末 夫

開講時に指示する。

## 政治学原論

福 岡 政 行

本講座は政治学全体の理論的位置づけを行うもので、多角的に分析を行う。

行政国家=福祉国家=大衆社会という今日的状況の下で、議会デモクラシーをどのように理解するのが重要なポイントになる。システム分析・文化論的アプローチ・社会化理論などを中心に、前期は理論的分析を中心に行う。

後期は、政治学のかかえる今日的課題について、応用科学としての政治学原論と考え、講義を進めてゆく。

〔教科書〕 『現代政治分析理論』（早大出版）  
¥2,500（その他追って指示。）

## 民法 I

山 崎 敏 彦

われわれの日常生活を規律する民法のうち、総則・物権法を扱う。その際、できるだけ多くの裁判例を示すことによって、よりよく理解していただけるよう努めたい。聴講にあたっては、教科書のほか、小型のものでよいから「六法」を持参されたい。

〔教科書〕 我妻=有泉『民法I』（一粒社）

## 哲学特講 I（東洋）

篠 原 壽 雄

中国の哲学・東洋思想を理解しようとする、儒教・仏教、そして道教の学習は欠かせない。そこで前期は老荘の学と道教を学びたい。後期には墨子の非命、非儒などの精神が韓非子にいかにか受容されたかなどを中心に、先秦の入びとの心にあるものを探りたい。ついで荘子を学び、併せて中国禅思想を考究したい。

〔教科書〕 『荘子』（第一冊）（岩波文庫）

## 哲学特講 II（西洋）

國 嶋 一 則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。

歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択

する手掛りとして。

〔参考書〕 その都度示す。

### 宗教学特講Ⅰ

松田文雄

——宗教思想および用語の概説——、特に教職単位であることを考慮し、宗教思想の潮流、および宗教思想史上の基本的用語を概説する。今年度は日本仏教を取り上げる。

〔参考書〕 随時指示する。

### 宗教学特講Ⅱ

脇本平也

——宗教現象の構造——宗教現象は、その内部にさまざまな構成要素をはらんだ複合的な体系をなしている。たとえば、宗教体験、思想・教義、儀礼、教団などの諸契機が構造的に関連しながらこれを形成している。そうした構造の分析と類型化を試みる。

〔教科書〕 脇本平也『宗教を語る—入門宗教学—』（日新出版）

### 宗教学特講Ⅲ

洗 建

現代社会における宗教の問題、とりわけ政教関係の問題をとりあげる。国家と宗教の関係を規定する法制度とその価値規範、更に底流をなす宗教文化との関係について考察する。

〔参考書〕 適時指示する。

### 教育史

磯野昌蔵

わが国における青年期教育の発達を検討する。

### 宗教教育

櫻井秀雄

宗教教育の原理を究明し、できるだけ実証的な調査資料によって宗教意識をさぐり、これに対する具体的方法

について考察し、家庭・学校・社会教育のそれぞれにおける宗教教育の意義と実際を研究する。

〔教科書〕 日本宗教学会「宗教と教育に関する委員会」編『宗教教育の理論と実際』（鈴木出版(株)）1985. 10 ¥5,800

### 教育関係法規

船木正文

本講義のねらいは、教育基本法を中心とする現行の教育関係法規を体系的に概観することにある。その際、今日生起しているさまざまな教育問題について具体的に取上げ、教育関係法規にてらして説明していく予定である。

〔教科書〕 特不使用しない。

〔参考書〕 『解説教育六法』（昭和63年版）（三省堂）

### 教育評価

大浜幾久子

生徒の発達を正しく測定し、評価することは、本来、教師の教育実践の中で重要な仕事である。教師は、評価を通して、生徒のつまづきを発見し、自らの実践を反省する。また生徒も、評価を手がかりとして、以後の自分の学習の方向を考える。ところが、教育評価ということばから多くの人がまず思い浮かべるのは、学力テスト・偏差値・通信簿・内申書等であり、これらは、大多数の父母・教師そして生徒にとって、今日の学校教育の矛盾の象徴として映っている。では、教育評価の本来の機能をとりもどすにはどうしたらよいのだろうか。教育評価の理論の歴史をたどり、また教育測定・評価の技法を実習を含めて学ぶことにより、この問題を考えていく。

〔参考書〕 ビアジェ、秋枝茂夫訳『教育の未来』（法政大学出版局）¥1,300

### 生活指導

秋山達子

現代のおとなたちが、おとなの合理的な考えで、子どもたちへの対策を考えれば考えるほど、結果は逆になるような気がします。

想像力も育てずに自立させられてしまう子どもたちは、自分の不満や抑圧された本能的衝動の結果を、既成の学問の理論を借りて説明し、その解釈ですべてを割り切つて、その中に逃げこみ、実際に自分の心に問い直すことにしていないのではないのでしょうか。

〔参考書〕 秋山さと子『ユング心理学』（講談社現代新書）

## 教育哲学

汐見 稔 幸

今年度は、講義参加者といっしょに何点か児童文学作品を読み合いたいと考えている。最近の子ども・青年の意識や要求の世界を深く知るためには、従来からの心理学だけでなく心の科学としての精神分析学や精神医学などからも学ばねばならないし、すぐれた文学、児童文学作品からも学ぶことが必要である。児童文学の批評はすでに多方面から行なわれているが、教育学の側からの批評は十分ではない。今年度の講義はその意味で児童文学作品の教育学的批評というテーマになろう。形式としてはゼミ形式を考えている。四年生が例年多いので、開き方については参加者と相談して決めたい。

テキストも一回目の授業で決める。

## 教育調査

前川 真 一

教育という営みは、生徒が抱える問題点を把握するところから始められる。その際に、さまざまな観点から、いろいろな調査が行われることになる。たとえば、生徒の授業の達成度や学力を知るために行われるテストや、生徒の家庭環境・性格・学習方法などを知るための質問紙調査などがその典型的な例としてあげられる。ここでは、まず、教育現場で最もよく利用されている「テスト」に関して、その作成法・得点の見方・標準的なテストの種類などについて概観し、さらに、それと比較しながら、質問紙調査などのその他の調査方法について触れていく。

〔参考書〕『調査と測定』（新曜社）¥2,800

## 教育学特講

熊谷 一 乗

講義は、現代教育の諸問題というテーマで行われる。現代の学校教育が当面する重要な問題として、子どもの問題行動、差別・選抜、同和教育の問題を人権尊重、人間の尊厳の確立の観点からとりあげ、これらの問題の背景と発生のメカニズムを検討し、解決の方途について論ずる。ついで教育改革に関する問題をとりあげて、各種の改革論を検討し、何がどのように改革されなければならないかを考察し、現代の教育問題に対する理解を深めることをめざす。

〔参考書〕熊谷一乗著『学制改革の社会学』（東信堂）

## 教育情報学

難波 和 明

パソコンによる実習によってコンピュータはどのような道具かを紹介するとともに、CAI、CMI、コンピュータ・リテラシーなど、コンピュータと教育に関する話題を扱いながら、情報化時代の教育について考えていく。

## 図書館学 I

山崎 慶 子

児童・生徒の学習活動や教養・趣味を豊かにするには教科書の他に各種の資料を必要とする。最も有効適切な資料は何か、どうしたらそれらをすべての生徒に提供できるか。増大する一方の出版物や各種の情報が溢れる現代社会において、それを選択し活用する力を高めるにはどうしたらよいか。また人間形成に役立つ読書のあり方などの追求を、教育の場の中心ともいべき学校図書館活動として考察していきたい。さらに生涯教育の場である公立図書館の使命や役割への理解を深めるようにしたい。

前期の講義内容は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」を、後期は「学校図書館の利用指導」と「読書指導」である。

〔教科書〕図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』（学芸図書）

## 図書館学 II

源 昌 久

この講義においては、司書教諭の資格を修得する上で必要な諸科目の内、主として資料組織法（分類法・目録法）について論じる。前期には分類法、後期には、目録法を講じ、各々の概念的フレーム・ワークおよび基本的規則について言及する。開講時に詳しいシラバスを示す。

〔教科書〕図書館教育研究会『新編学校図書館通論』（学芸図書）

日本図書館協会目録委員会編『日本目録規則 新版予備版』（日本図書館協会）  
日本図書館協会目録委員会編『日本目録規則 新版予備版 追録および修正』（日本図書館協会）

〔参考書〕日本図書館協会分類委員会改訂（編集）『日本十進分類法 新訂8版』（日本図書館協会）

## 博物館学Ⅰ

倉田 芳郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ（見学）」ならびに「実習Ⅳ（特講）」と有機的に関連をもたせるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組むうえで、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難しいかもしれない。本講義は博物館の基本のみを講ずるので、2単位である。社教主事の資格を取得しようとする方は、「博物館学Ⅱ」（2単位）も履修することが必要である。受講方法について、誤りの無いようにしたいので、4月第1週の時間は必ず出席すること。

## 博物館学Ⅱ

熊野 正也

地域における歴史博物館をとりあげ、数々の実践を通じてその展示と諸活動の方法について講述する。

## 博物館実習Ⅰ（館務）

倉田 芳郎・太田喜美子

博物館で10日間以上の学芸員についての実習を行う。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。欠席した場合は来年度履修することになる。

## 博物館実習Ⅱ（収集）

倉田 芳郎・所 理喜夫  
葉貫 磨哉・太田喜美子

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。実習の種類・時期は下記の予定である。このうちの、1つを履修すればよい。

1. 考古学発掘調査 7月中旬から8月中旬
2. 民俗調査 8月下旬と2月中旬
3. 文書・石仏調査 9月下旬
4. 石仏調査 10月上旬
5. 遺跡分布調査 2月中下旬

## 博物館実習Ⅲ（見学）

倉田 芳郎・飯島 武次

学芸員課程の必修科目である。

都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習の組分けを決定する関係上、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第1週に出席すること。

## 視聴覚教育

赤堀 正宜

学校教育や社会教育における視聴覚教材やコンピュータ通信等のニューメディアの利用について考える。

学校教育番組や社会教育番組の利用は、教育方法・内容の革新とつながり、教育工学の一部となっている。視聴覚教育の原理・具体的な利用方法、その教育的効果を明らかにしていく。

〔参考書〕 大内茂男・中野照海他編『視聴覚教育の理論と研究』（日本放送教育協会）

## 日本文化史Ⅰ

有元 修一

日本文化の多様な流れを概観するとともにその特色をあらかにする。本年は特に古代・中世を中心とする。

〔参考書〕 家永三郎著『日本文化史 第2版』（岩波新書）

## 印度仏教文化史

奈良 康明

いかなる社会であれ、その成員により獲得され、習熟され、伝達されてゆく諸観念や慣習、儀礼等がある。かかる生活様式の統合的な体系を文化と呼んでいい。仏教の研究においても、例えば涅槃を中核におく高次の教理の研究も仏教文化の一側面を明らかにするものであることは疑わない。そうした高いレベルの観念や行法を一方におきつつ、他方に、各種民間信仰的な諸観念や儀礼、生活慣習等、日常レベルの生活様式を考察し、且つ、両レベルのかかわりあいを見るところにはじめて仏教文化が全的なすがたでとらえられるのではないか。本講座はこうした視座からインドの社会、宗教とかかわらせつつ、仏教文化の歴史にアプローチをこころみる。

〔参考書〕 辛島 昇編『インド入門』（東大出版会）  
奈良康明『仏教史Ⅰ——インド、東南ア  
ジア——』（山川出版）

## 西洋文化史Ⅱ

三小田 敏 雄

今年度はローマの文化を取り上げる。今日われわれがローマ文化と呼んでいるものは、いつごろから現われたのか、そしてその特質はどんなものか、をできるだけ翻訳史料をあたりながら調べ、遺跡や彫刻を通じて確認してみる。ローマ時代にオリエントの影響が増大し最後にキリスト教の伝播によって、中世文化が生れるところまで講義する予定である。教科書および参考書は開講時に指示する。

## 仏教美術

林 良 一

インドにおける古代初期よりガンダーラ期の仏像成立にいたるまでの展開および仏教美術の図像学について講述する。寺院の遺跡や仏菩薩等の尊像を、現地撮影のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林 良一著『ガンダーラ美術紀行』（時事通信社）¥2,200

## 現代美術

宮 崎 克 己

19世紀、20世紀の西洋絵画について、様々な角度から考える。絵画の造形表現の問題（色彩、空間など）、表現内容の問題（象徴性、思想など）、社会的問題（展覧会の形式、ジャーナリズムとの関係など）等を、代表的作品を選んで具体的に論ずる。

受講者には適宜、美術館、展覧会の見学、およびレポートの提出を要求する。

## 禅 美 術

海老根 聰 郎

日本の中世の水墨画の歴史を、中国絵画と関連させてのべる。

## 美術史概説

林 良 一

中国の南北朝より朝鮮の三国時代を経て、わが国の飛鳥期の仏教彫刻にいたる様式的展開について講述する。各地の寺院遺跡や遺品などのカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 西域美術史

林 良 一

アフガニスタンより東西のトルキスタンにいたる西域美術を、仏教美術の東伝を中心に、各地の遺跡および遺品について講述する。現地の遺構や遺品のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林 良一著『ガンダーラ美術紀行』（時事通信社）¥2,200

## 考古学概説Ⅰ（日本）

倉 田 芳 郎

日本考古学研究のための基礎知識について講義する。年度第1週目の授業には、必ず出席してほしい。

## 考古学概説Ⅱ（外国）

飯 島 武 次

『考古学ゼミナール』の講読を通じて外国考古学について講義を行なう。

〔教科書〕 江上波夫監修『考古学ゼミナール』（山川出版社）1976年（学生版、¥2,800）

## 考古学特講Ⅱ

高 浜 秀

ハンガリーから中国の北方オルドス地方に至るユーラシア北方草原地帯では、紀元前1000年紀に青銅器時代から初期鉄器時代へ移行すると共に、紀元前8～7世紀頃、スキタイ系騎馬遊牧民文化、あるいは初期遊牧民文化と総称される一連の文化が興った。講義では、これらの文化を概観する。

## 考古学特講Ⅳ

飯島 武次

UNESCO, "Recent Archaeological Discoveries in the People's Republic of China"の講読を行なう。

〔教科書〕 UNESCO, "Recent Archaeological Discoveries in the People's Republic of China," 東洋文庫附属ユネスコ東アジア文化研究センター 1984年 ¥2,100

## 日本民俗学

山折 哲雄

柳田国男と折口信夫の民俗学について考察し、現代文化の諸相に光をあてる。

〔教科書〕 山折著『神と仏』（講談社新書）

## 仏教民俗学

和田 謙寿

集會や通夜・法事などに臨んだ際、必ず仏事などに関する質問を受けることがある。葬送習俗や靈魂に関する事柄、法名のつけ方や焼香の仕方、墓の建て方や年忌供養のしきたり、時には寺院の成立とその発展過程、野ぼとけの由来や伝説など、その質問の内容も色々である。このような時、相手に納得のつくような説明が出来たらさぞかし喜んでもらえる事であろう。このような時の心構えとして是非とも仏教民俗学の知識を身につけて置くことにしよう。住職をはじめ、郷土史や文化財の研究に従事しようとする者にとっては必須の学問であると言える。

〔教科書〕 和田謙寿著『仏教の地域発展』（仏教民俗研究会）¥2,900

## 宗教人類学

佐々木 宏幹

宗教がある社会においてどのような意義と役割をもつかという問題を考察することを主眼としながら、宗教と人生観・世界観との関係、宗教儀礼の象徴的性格などについて、とくに言及したい。東南アジア仏教文化圏の事例を多く用いる。

〔参考書〕 小口偉一編『宗教学』（弘文堂）  
¥1,300

## 考古発掘実習

寺社下 博

野外における考古発掘実習を行なう。20日間以上参加することが必要である。年度始めの講義時間に必ず出席のこと。

## 社会福祉概論

東條 光雅

わが国の社会福祉に関する概論的な知識を持つということは、社会福祉従事者としては言うまでもないが、一国民として生活してゆく上でも非常に有益なことであると言えよう。

本講では、まず、社会福祉の概念整理から始め、その歴史的展開過程、福祉のしくみ、分野などについて論及し、社会福祉の諸制度の現状と今日的課題について、一応の体系的理解ができるようにつとめたい。

なお、本講座が概論という基本的な講座であり、また、受講生が福祉学専攻生ではないことに留意し、より一層分かりやすい指導につとめたい。

〔教科書〕 仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）  
¥1,500

〔参考書〕 太田義弘・佐藤豊道編『ソーシャル・ワーク』（海声社）¥1,400

## 障害福祉論

原田 信一

主として、わが国における心身障害児（者）福祉の発展過程をその淵源にさかのぼりつつ講じたい。なかでも、とくに、思想面（社会的規範）と政策面等の二面的視角にたち、原点を探るとともに、さらに欧米先進諸国のそれとの対比から、わが国の心身障害福祉の見直しをはかり、新たな課題構築の案としてもらう。

〔教科書〕 星野他編『障害福祉論入門』（改訂版）  
（有斐閣）

〔参考書〕 林 邦雄他著『心身障害児（者）福祉』（田研出版）

## 社会福祉実習

東條 光雅

社会福祉実習は、授業で修得してきた社会福祉の理論や基礎知識、技術といったものを、実際の福祉処遇の現場で実践・応用し、その有効性や妥当性を検証すると



もに、現場の実態やそこでの問題点を探るための貴重な体験の機会である。

教室で学び、思考してきたものを机上の空論としないためにも、この実習の機会を有効に活用してほしい。

〔教科書〕 1). 大島 侑編『社会福祉実習教育論』

(海声社) ¥ 1,950

2). 『社会福祉六法』(第一法規)

¥ 3,800

〔参考書〕 随時紹介する。

## 社会福祉法制

小林 弘 人

本構義は、憲法 25 条を具体化する社会保障・社会福祉に関する法を検討・整理・体系化することを目的とする。前期の前半は『社会学研究』15 号所収の「西ドイツにおける社会行政法」を資料にして、主として西ドイツにおける社会福祉に関する法の問題点を検討する。この検討を終えた後は、教科書『社会福祉の法を考える』に準拠して、当初の目的達成のための講義を行う。

〔教科書〕 小林弘人編著『社会福祉のための法人門』(川島書店)

〔参考書〕 小川政亮著『社会事業法制』(ミネルヴァ書房)

## 公的扶助論

近 藤 功

公的扶助は、社会保険と並び、社会保障の 2 大部門の 1 つであり、憲法第 25 条に定められた国民の基本的人權の 1 つとしての生存権を保障するため、国民の最低限度の生活を守る貧困救済の最後の安全網 Safety net である。わが国では、公的扶助を代表するものは、生活保護制度であるが、公的扶助としては、このほかの扶助も含まれる。

この公的扶助について、欧米諸国の歴史的生成過程をたどり、その問題点を明らかにするとともに、わが国における公的扶助の歴史、制度の現状及び課題を講じる。これらの諸問題は、社会保障の原点として、ひろく社会保障そのものを規定する基本的条件である。

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 児童福祉論

原 田 信 一

今日、児童をめぐる法律・制度は整備され、社会福祉分野においても、いちじるしい進歩をみた。しかし、現実面では必ずしもそうとばかりはいいきれない。つまり、

日々、日まぐるしく激動する社会で、引切り無しに生起する種々の児童福祉侵害問題に対応しきれない状態が今日の姿である。児童の人權無視にはじまり、公害・家庭崩壊・機能低下など限りなく出現し、まさしく児童福祉の危機的様相をみせている。そこで、本講においては、児童福祉を広い視座から考察し、児童への理解と併せて、児童に関連ある法制度にも言及しさらに、狭義の児童福祉事業(児童福祉法など)の関連にもふれ講じてゆきたい。

〔教科書〕 原田信一『現代児童福祉学』(学文社)

〔参考書〕 高橋重宏編『児童福祉を考える』(川島書店)

## 老人福祉論

東 條 光 雅

人口の急速な高齢化が進む中、家族形態・機能の核家族化と相まって、老後問題に対する社会的関心が非常に高まっている。老後問題は、今後一層の深刻化が予想されるが、これに対処すべき老人福祉施策はまだまだ不十分な状況である。わが国においては、約半世紀後に超高齢化社会の到来が予測されるわけであるが、現状改善という視点からだけでなく、長期的な展望と広い視座から老人福祉対策の在り方を考えてゆくことが必要である。

本講では、老人福祉対策の歴史的変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉サービスを考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の変化や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

〔参考書〕 冷水 豊・浅野 仁・宮崎昭夫編『老人福祉』(海声社) ¥ 1,400

## 社会保障概論

近 藤 功

社会保障は、憲法第 25 条に規定する国民の生存権の保障のための重要な政策体系であり、国政において、優れて高い地位を与えられている。

この社会保障について、欧米諸国を含め、歴史的発展過程、体系、財政、国際比較等を検討し、その問題点を明らかにする。

特に、わが国の社会保障について、その主要な部門としての所得保障(年金保険、公的扶助、児童手当等)、医療保障(健康保険等)その他について、制度の現状及び課題を講じる。

〔教科書〕 小沼 正・地主重美・保坂哲哉編『社会保障概論』(川島書店)

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 地域福祉論

永田 幹夫

今日における急速な社会福祉改革の方向を示すものとして1970年代以降に登場したのが現代的意味での地域福祉論である。地域福祉の概念およびその支柱たる在宅福祉サービス提供システムの開発と地域組織化・福祉組織化等の方法論に関する基礎理論を実践動向に即して論究し、地域福祉の全容把握をはかりたい。

〔教科書〕 『地域福祉組織論』（全国社会福祉協議会出版部）¥1,900

〔参考書〕 『地域福祉教室』（有斐閣）¥1,400

## ケースワーク論

高橋 重宏

ソーシャル・ワーク実践の専門技術の1つであるソーシャル・ケースワークについて、まず、ケースワークの意義、定義、歴史的展開過程、原理、ソーシャル・トリートメント過程、関連理論などについて論及する。さらに、ケースワークの臨床事例を紹介し、ソーシャル・ケースワークとは何かが、一応体系的に理解できるようにつとめたい。

なお、後期の臨床事例研究では、小グループでのディスカッション、発表など、学生の主体的参加を求めるので留意しておくこと。

〔教科書〕 久保紘章・高橋重宏編著『ケースワークを考える』（川島書店）

仲村優一編『ケースワーク教室』（有斐閣）

## グループワーク論

松本 栄二

社会福祉実践方法としてのグループワークについての基礎的知識と技術ならびに倫理性について考えてみる。

講義の方法をとる以外に、映画、ロールプレー、事例検討などの方法もとり入れる。

資料の適時配布についてはコピー代実費徴収する。

〔参考書〕 『福祉施設が求める専門職者』（東京書籍出版）¥2,000

## 社会福祉事業発達史

林 千代

いつの時代にも、人々の生活の不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変

動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕 今岡他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕 随時紹介。

## 母子福祉論

林 千代

私は、婦人問題の視点から婦人福祉論を組立てているが、それは、性差別を根底に婦人の生存や生活が不安定化する局面、その解決へのプロセス・施策が主な内容になる。そして、婦人の生存さえあやぶまれる状況の一つが母子家庭になった時なのである。それは、いわば婦人問題の集約であり、施策の最も具体的な対応がせまられる状況である。このような問題意識に立って、講義のあらすじを示すと次のようになる。(1)婦人(母子)福祉への歩み、(2)母子家庭とは、(3)母子家庭の生活実態とその困難、(4)母子福祉施策の現状と問題点。なお、父子家庭の増加に伴い、単親家庭としての把握の中で父子家庭問題にもふれたい。母子家庭と父子家庭の共通点と相違点を明らかにする。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時紹介。

## 医療社会事業論

松本 栄二

前期は具体的実践記録を資料として医療社会事業—医療ソーシャルワークの側面と医療福祉制度の側面—について知的関心を学生に持ってもらう様な講義を進めてみたい。後期は、文献研究によって医療社会事業の歴史；社会的側面と共に、その概念的明確化をめざした講義内容を計画している。

講義のなかで用いる事例など資料代は実費徴収する。

## 社会福祉方法総論

高橋 重宏

今日の社会福祉は、福祉サービスの提供者と利用者のあいだの対人的・非貨幣的支援活動のもつ比重が高まっている。本講義は、社会福祉実践の専門技術（skill）の

基礎について学ぶことが中心となる。

具体的には、ソーシャル・ワークの基礎知識及び関連理論、歴史的展開過程、ソーシャル・ワーカーの専門性、現代社会におけるその独自の社会的機能等を明確化させつつ、ソーシャル・ワークについての入門的解説を中心に展開したい。さらに、臨床事例を用いながら、ソーシャル・ワーカーになるための基礎理解を深め、ソーシャル・ワーカーとしての専門職業的倫理観や基本的姿勢についても追求したい。

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤丈弘編著『ソーシャル・ワークを考える』（川島書店）

〔参考書〕 必要に応じて指示する。

## 社会福祉管理運営論

重田 信一

わが国における社会福祉実践の実態分析から、福祉政策、行政、財政、福祉施設運営、地域住民の福祉活動のあり方等を検討し、その総合化の方向について考察を加えたい。なおこの講義においては、その前提としてのわが国における社会福祉実践の時代的展開の特徴、および欧米の類似制度・実践との比較検討もあわせて行いたい。

本講義の履修は、これから社会福祉の学習に入ろうとする学生諸君の事情も考察しておるので、念のため附記しておく。

〔教科書〕 プリント（教室にて無償配布する。）

〔参考書〕 多数あり、講義の進行に沿って紹介する。

## リハビリテーション論

原田 信一

リハビリテーション領域のなかで、いちじるしく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれる。この分野は、内蔵する問題が広汎・多岐に亘っているばかりか、いずれも困難な問題を抱えていることがいちじるしく遅滞をもたらす原因になっているといわれる。そこで本年はとくに、社会リハビリテーションに視点を絞り、その基本問題をふまえ、社会・文化的環境を考察し、政策と実践の方法論、それらを支える隣接科学面ならびにリハビリテーションの国際的展望等について概説したい。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時指示する。

## 社会教育概論

磯野 昌蔵

社会教育とは何かを次の諸点から検討する。

- 社会教育制度
- 学校教育と社会教育
- 社会教育関係団体

## 社会教育方法論

村山 輝吉

前年度に引きつづき、戦後のわが国における社会教育実践の代表例について方法論構築の観点から検討する。

〔教科書〕 確井正久・倉内史郎編著『新社会教育』（学文社）¥2,000

〔参考書〕 適宜指示する。

## 社会教育行政財政

長澤 成次

戦後社会教育行政の基本を憲法・教育基本法そして社会教育法の構造的連関のもとで把えると共に、国民の学習・文化・スポーツ権を生涯にわたって保障する社会教育行政の今日的課題を考察する。

〔教科書〕 その都度指示する。

〔参考書〕 社会教育推進全国協議会編『改訂 社会教育ハンドブック』（エイデル研究所）1984年

## 教育社会学

熊谷 一乗

子どもの発達と教育に社会的要因は、どのように作用するのか、教育はどのような仕組みで行われるのか、また教育は社会のなかでどのような機能をはたしているのか、といった点を明らかにすることをねらいとして、講義をすすめる。講義の内容は、①子どもの発達と社会、②集団の教育力と子ども、③教育と社会、④学校と子ども、という四つの領域から成り立っている。全体を通じて子どもの発達と教育の社会的連関を解明し、現代の深刻な教育上の諸問題の解決に取組むための視点と方法を理解してもらおうことをめざしている。

〔教科書〕 熊谷一乗著『子どもの発達と社会——教育社会学の基礎——』（東信堂）

〔参考書〕 熊谷一乗著『現代の教育原理』（東信堂）

## 社会心理学

坪井 健

社会心理学は、元来、社会学と心理学の境界領域にある現象を研究対象としてきた。従って、社会的アプローチと心理学的アプローチが並存しており、必ずしも統一されたものになっていない。

本講義は、個人の心理（行動）に影響を与える社会的諸条件に関心を持つ心理学的アプローチにも留意しつつ、現実の社会における人々の心理（行動）に関心を持ち、社会過程を重視する社会的アプローチを基調にして、社会生活をしている人々の社会心理諸現象の分析的な説明を目的としたい。

〔教科書〕 穴田義孝編『こころ・行動そして社会』（人間の科学社）

## 社会教育施設

村山輝吉

1. 社会教育施設とは何か
2. 社会教育施設にかかわる人々
3. 公民館
4. 図書館
5. 博物館
6. 社会体育施設
7. その他の社会教育施設・関連施設
8. 社会教育施設をめぐる動向と課題

〔教科書〕 確井正久・倉内史郎編著『新社会教育』（学文社）¥2,000

〔参考書〕 小林文人編『公民館・図書館・博物館』（講座・現代社会教育 第6巻）（亜紀書房）

## 児童文化

富田博之

児童青少年の人間形成における「児童文化」の意義と役割、および主としてわが国の児童文化の成立過程（歴史）と現状を探り、併せて児童文化や社会教育の現場で働く人たちのための基礎的実習を行なう。

児童文化の歴史では、児童青少年のためのコミュニケーション・メディアの発達史を扱い、その現状では、現代文化における児童文化の実態と、児童青少年の生活や形成に及ぼす影響について考える。

実習では、身体とことばによる表現とコミュニケーションの方法の基礎を学習する。

〔参考書〕 日本演劇教育連盟編『もっと朗読を——美しい日本語のために』（晩成書房）¥880

## 青少年問題研究

和田謙寿

校内暴力や家庭内暴力・いじめ、薬物乱用など、年々少年の不良化や犯罪が増加していることは誠になげかわしい次第である。国家や地方公共団体はこれに対応して万全の策をつくしているが、焼石に水の現状である。この種の問題は理論だけで済ませられるものではなく、実際の面からの考察が必要である。今年には特に中学校および高等学校の教師をめざす者、ならびに青少年指導者を志す人々を対象として、その理論と現実との両者をつめて考察する事にする。更に生活指導教諭を希望する者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一方法として考えられるので、その旨を授業のはじめに申し込まれる事を希望する。

〔教科書〕 和田謙寿著『少年補導の研究』（全防連）¥1,200

## 青少年指導演習

和田謙寿

将来、青少年指導者を希望する者、つまり、社会教育主事や社会福祉主事、少年指導委員・補導教諭などの業務に従事しようとする人々には是非とも必要な講座である。本年は少年の非行問題を中心に授業を展開して行きたいと思う。特に教師になった場合は専攻をした学問は当然のこと、受持ち生徒の生活指導にも多大の比重で尽くさねばならぬので、非行対策の問題は重要な課題となる。

更に少年の問題に興味を持ち、研究しようと思掛ける者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一つの方法であろう。

## 社会教育演習

上岡安彦

秋期に埼玉県川口市内の公民館、図書館、幼児会館、青少年会館、婦人会館、児童文化センター、視聴覚ライブラリー等で一週間の社会教育実習を行います。

実習前は、社会教育実践記録として『成人教育への挑戦』を読み、実習後にはマクロの視点から『生涯教育』を読みます。

〔教科書〕 永田良行『成人教育への挑戦』（全日本社会教育連合会）¥750  
エットーレ・ジェルビ『生涯教育』（東京創元社）¥1,500

成人指導及青少年指導

長 澤 成 次

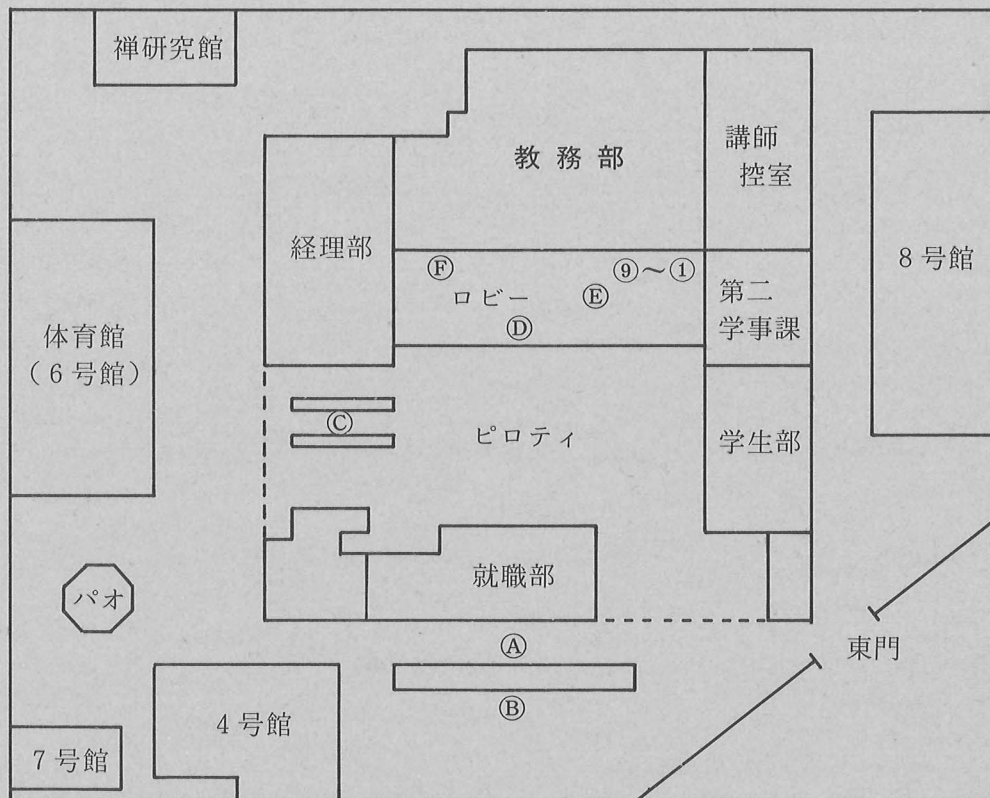
社会教育における成人指導・青少年指導のあり方を、  
戦後日本における青年教育実践に焦点をあてて考察する。

〔教科書〕 その都度指示する。

〔参考書〕 日本社会教育学会編『現代社会と青年教育』（東洋館）1985年



## 教務部窓口（本部棟 1 階）および掲示板案内



### ①教職課程

学校図書館司書教諭講座

### ②博物館学講座

社会福祉主事講座

社会教育主事講座

### ④証明書（教務関係）申込受付・発行

＜健康診断書および在学証明書は学生部＞

※諸証明書申込用紙は経理部前にあります。

### ⑤諸届願

（休学・復学・退学・死亡  
改氏名・本籍地変更・保証人変更  
保証人住所変更・聴講）

### ⑥大学院関係・留学生関係

学部演習（仏教学部・経済学部）  
法学部・経営学部

卒業論文（仏教学部・文学部）

### ⑦時間割変更・休講・外国語指定届

卒業証書・転部科

### ⑨履修・試験・成績・学業相談

### ①第1掲示板（表面）

公示・告示，学生部関係連絡事項，  
教務部関係（試験・教職・研究室等）連絡事項，  
その他

### ②第2掲示板（裏面）—臨時掲示板—

教務部関係連絡事項（12月～3月），

就職部関係連絡事項（9月～11月）

### ③第3掲示板—臨時掲示板—

教務部関係連絡事項（12月～3月），

就職部関係連絡事項（9月～11月）

### ④休講掲示板

### ⑤授業時間表カウンター

### ⑥大学院・留学生関係掲示板

